

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
9 教育費	1 教育総務費	3 教育振興費	210106	上美生地区山村留学推進事業

事務事業名	上美生地区山村留学推進事業	事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	平成 9 年度から 年度まで
-------	---------------	---------	--------	--------------	-------------------

(1) 事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) ・道外からの児童生徒を受け入れることによって、教育環境の整備や複式学級の解消を目指す。 ・上美生地区山村留学推進協議会に対する補助及び指導員の配置 ・児童生徒募集業務、交流事業の開催
2.対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など) 上美生小・中学校
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 複式学級の解消 教育効果の向上

(2) 事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 平成7年11月の上美生地区山村留学推進協議会設立を契機として、上美生地区における小学校及び中学校の複式学級の解消を目的に、平成9年度から児童生徒を受け入れている。
2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測 (どう変わったか、どうなるか) 平成28年度から臨時調理員の管理等事務を農林課から学校教育課へ移行。 全国的に山村留学を中止、休止する地域が増えている。 留学生受け入れ数は減少しており、地域の関わりの仕組みづくりが必要となっている。情報を広く公開し、地域住民の理解と山村留学への認識を高めていく必要がある。

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業 ☐ 統廃合・分割などによる変更 ☐ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、28年度の内容は空欄としていたことがあります。

			単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地 方 債	円			
		その他(使用料等)	円	392,703	196,885	198,000
		一 般 財 源	円	3,800,416	5,910,667	4,692,000
		事業費計 (A)	円	4,193,119	6,107,552	4,890,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2
		人工数(業務量)	年間	0.0382	0.0381	
		人件費計 (B)	円	314,752	296,401	
トータルコスト(A)+(B)		円	4,507,871	6,403,953		
活 動 指 標		指導員数	人	1	1	1
		留学生数	人	12	7	5
		交流事業数	件	5	5	5

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
山村親子留学用住宅貸付収入	円	388,800	194,400	194,000
臨職労働保険個人負担金(教育振興費)	円	3,903	2,485	4,000
	円			
	円			
	円			
	円			

事 務 事 業 の 成 果 に 関 す る 説 明

1 山村留学推進事業に要した経費

平成29年度山村留学の状況

- ・センター留学 2名(小学生)
2名(中学生)
- ・親子留学 3名(小学生2名、中学生1名)

上美生地区山村留学推進協議会補助金 1,113,167円

・事業部

(1)夏祭り:平成29年7月15日

実施場所 ふるさと交流センターやまなみ 駐車場

参加人員 小・中学生、役員・保護者 計70名

(2)乗馬体験:平成29年8月19日

実施場所 どさんこ牧

参加人員 小・中学生、役員・保護者 計60名

(3)町内探検:平成29年11月18日

実施場所 美生ダム、上美生橋

参加人員 小学生40名、役員・保護者等19名 計59名

(4)ホームステイ:平成29年10月7日～8日

受入家庭 3軒

参加人員 4名(センター留学生)

(5)スキー教室:平成30年1月20日

実施場所 メムロスキー場

参加人員 小学生42名、役員・保護者等9名 計51名

・募集部

(1)ホームページ更新

(2)やまなみだより更新～インターネット上で留学生の生活を発信(週末に更新)

(3)山村協ブログ更新

(4)親子留学家族交流会の実施

(5)その他

各種取材等への対応

役員研修・視察

・事務局

(1)三役会議 8回

(2)役員会 2回

(3)体験入学生との面談 2回

(4)選考委員会 6回

(5)関係機関訪問 1回

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
9 教育費	1 教育総務費	3 教育振興費	210202	学校課外活動支援事業(中学校)

事務事業名	学校課外活動支援事業(中学校)	事務事業 の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	不明	年度から 年度まで
-------	-----------------	-------------	--------	--------------	----	--------------

(1) 事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 部活動等の学校課外活動推進のために助成金等の支出を行う。
2.対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など) 町内の中学生(生徒)
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 部活動の活性化により生徒の健全育成を図る。

(2) 事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 中学生の健全育成支援。
2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測 (どう変わったか、どうなるか) 東めむろの宅地造成で一時的に芽室中学校区域に児童数が増えたが、その後は減少していく予測となっている。 旧緑町公営住宅跡地の宅地造成による芽室西中学校区域の児童数の増が期待される。

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業	☐ 統廃合・分割などによる変更	☐ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更
----------------------------------	--	--

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、28年度の内容は空欄としていたことがあります。

		単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円		
		地 方 債	円		
		その他(使用料等)	円		
		一 般 財 源	円	9,653,500	8,347,196
		事業費計 (A)	円	9,653,500	8,347,196
	人件費	正職員従事人数	人	3	3
		人工数(業務量)	年間	0.1370	0.0934
		人件費計 (B)	円	1,128,821	726,611
	トータルコスト(A)+(B)		円	10,782,321	9,073,807
活 動 指 標	部活動数		部	22	23
	報償費・助成金の金額		円	9,572,500	8,347,196

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事 務 事 業 の 成 果 に 関 する 説 明

1 主な施策の成果

○全国、全道中学校体育大会の参加状況

学校教育活動における各種大会、全道大会等に参加出場した者に対して、必要経費の実費支給を行い学校教育活動の振興を図った。

区 分	大 会 数	参加者数	所 用 経 費
全 国	4	12	1,212,784
全 道	24	146	3,673,086
計	28	158	4,885,870

・芽室中学校

大 会 名	開催地	期 日	大 会 成 績
第38回北海道中学校水泳大会	札幌市	7/28-30	200m男子自由形、200m男子個人メドレー決勝進出
第48回北海道中学校体操競技・新体操大会	札幌市	8/1-3	男子一部個人総合27位
第48回北海道中学校バドミントン大会	札幌市	8/1-3	女子シングルス出場
第45回北海道中学校柔道大会	厚沢部町	7/28-7/30	男子60kg級ベスト8
第19回北海道ジュニア陸上競技選手権大会	深川市	9/2-3	男子A3000m3位、B1500m2位他
第62回北海道吹奏楽コンクール	札幌市	9/1-2	中学校A編成の部 銀賞
第24回北海道中学校新人陸上競技大会	千歳市	9/23-9/24	男子400m3位、男子及び女子4×100mリレー4位他
第24回横井七之助旗争奪北海道中学校柔道新人団体優勝大会	札幌市	11/25	団体ベスト8他
第32回北海道中学校バスケットボール新人大会北大会	釧路市	12/25-28	決勝トーナメント1回戦出場
第38回全国中学校スケート大会	長野県長野市	2/3-2/6	男子学校対抗優勝、男子1000m2位ほか
第38回全国中学校アイスホッケー大会	釧路市	1/18-1/21	全国準優勝
第62回北海道アンサンブルコンクール	札幌市	2/17	銀賞受賞
第27回北海道中学生バレーボール優秀選手選抜大会	芦別市	3/26-28	帯広男子選抜第3位
第36回北海道ジュニアオールスターバスケットボール1年生函館大会	函館市	3/23-3/25	1年男子帯広選抜3位、1年女子帯広選抜5位
第36回北海道ジュニアオールスターバスケットボール2年生大会札幌大会	札幌市	3/23-3/25	2年男子帯広選抜優勝、2年女子帯広選抜5位
第12回全日本少年アイスホッケー大会	釧路市	3/25-3/29	全国3位

・芽室西中学校

大 会 名	開催地	期 日	大 会 成 績
第48回北海道中学校バドミントン大会	札幌市	8/1-3	男子ダブルス出場
第45回北海道中学校柔道大会	厚沢部町	7/28-7/30	女子40kg級優勝
第48回全国中学校柔道大会	福岡市	8/22-25	女子40kg級出場
第8回道連中学部強化研修大会兼クリスマスカップ派遣選手選考会	美唄市	10/14-15	予選リーグ出場
第24回横井七之助旗争奪北海道中学校柔道新人団体優勝大会	札幌市	11/25	女子57kg級2回戦出場
第39回北海道中学生団体対抗ソフトテニス大会	滝川市	12/27	男子第3位
第5回北海道中学生シングルスソフトテニス選手権大会	砂川市	12/28	男子ベスト16
第44回北海道中学校インドアソフトテニス選手権大会	札幌市	1/5	男子ベスト16
第36回北海道中学生新人バドミントン競技選手権大会	釧路市	1/7-1/9	男子ダブルスベスト8
第50回北海道中学校スキー大会アルペン競技	小樽市	1/12-1/14	回転・大回転予選出場
第36回北海道ジュニアオールスターバスケットボール1年生函館大会	函館市	3/23-3/25	1年男子帯広選抜3位
第36回北海道ジュニアオールスターバスケットボール2年生大会札幌大会	札幌市	3/23-3/25	2年女子帯広選抜5位

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
9 教育費	1 教育総務費	3 教育振興費	210203	教育課程支援事業(小学校)

事務事業名	教育課程支援事業(小学校)	事務事業 の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	不明	年度から 年度まで
-------	---------------	-------------	--------	--------------	----	--------------

(1) 事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) ①芸術鑑賞及び宿泊学習、スキー学習、講演会等、体験学習に係る教育課程支援を行う。 ②保護者が参観日に参加しやすくなるよう未就学児の託児を行う。
2.対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など) ①小学生 ②学校 ③託児を利用する保護者
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 小学生に文化活動や体験学習の場を提供し、文化・芸術に触れる機会を増やす。

(2) 事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 宿泊学習や芸術鑑賞は総合学習を支援する一環として開始した。
2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測 (どう変わったか、どうなるか) ・北海道教育委員会は、「全国学力・学習状況調査」について全国平均を目標としている。 ・「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果において、体力・運動能力の低下が懸念されているため、学力向上、体力・運動能力向上の取り組みが求められている。 ・平成27年度から各学校が独自に取り組む外部講師等を活用した「豊かな心を育む人づくり推進事業」への支援を始めた。

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業	☐ 統廃合・分割などによる変更	☐ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更
----------------------------------	--	--

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、28年度の内容は空欄としていたことがあります。

		単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円		
		地 方 債	円		
		その他(使用料等)	円	520,000	
		一 般 財 源	円	4,569,698	4,769,000
		事業費計 (A)	円	5,089,698	4,769,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	3
		人工数(業務量)	年間	0.2647	0.1596
		人件費計 (B)	円	2,181,015	1,241,619
	トータルコスト(A)+(B)		円	7,270,713	5,484,272
活 動 指 標	芸術鑑賞及び宿泊学習総日数		日	11	9
	託児回数		回	25	51

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
いきいきふるさと推進事業助成金(教育振興費)	円	520,000		
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

(学校教育課 学校教育係)

事 務 事 業 の 成 果 に 関 す る 説 明

1 豊かな心を育む人づくり推進事業報償(外部講師による講話・講演)

学校名	月日	講師名	対象学年	講演内容	講師謝礼
上美生小	11月9日	佐々木祥子	全学年	「やる気を引き出す魔法の質問」	36,000
芽室小・上美生小 芽室西小・芽室南小	1月31日	腰塚 勇人	第5・6学年	命の授業	222,700
計					258,700

2 芸術鑑賞 1,036,800円

小学校	
作品	「小さなオーケストラコンサート」 公演: Musecouleur(ミュゼクルール) 企画: プロシードアーツ
日時	○平成29年9月11日(月) ・午前～芽室小(1・2年)、上美生小、芽室南小 ・午後～芽室小(3～6年) ○平成29年9月12日(火) ・午前～芽室西小
会場	芽室町中央公民館 大ホール

3 芽室町内児童・生徒作品展示会

- ①日 時 平成29年12月8日(金)～13日(水) 午前9時～午後8時(最終日は午後3時まで)
②会 場 芽室町中央公民館(1階ロビー)

4 芽室町内児童・生徒文集「芽がしわ」発行

5 参観日託児 71,450円

(単位:人)

学 校	実施月	低 学 年	中 学 年	高 学 年	計	回数
芽室小学校	6月	11	2	2	15	3
	11月	7	2	2	11	3
	2月	10	1	2	13	3
芽室西小学校	6・7月	2	0	0	2	1
	12月	2	2	0	4	2
	2・3月	2	0	0	2	1
計		34	7	6	47	13

学 校	実施月	計	回数
上美生小学校	7月	1	1
	12月	0	0
	3月	0	0
芽室南小学校	4月	0	0
	3月	0	0
計		1	1

小学校合計	人数	回数
	48	14

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
9 教育費	1 教育総務費	3 教育振興費	210204	教育課程支援事業(中学校)

事務事業名	教育課程支援事業(中学校)	事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	不明	年度から 年度まで
-------	---------------	---------	--------	--------------	----	--------------

(1) 事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) ①芸術鑑賞及び宿泊学習、スキー学習、講演会等、体験学習に係る教育課程支援を行う。 ②保護者が参観日に参加しやすくなるよう未就学児の託児を行う。
2.対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など) ①中学生 ②学校 ③託児を利用する保護者
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 中学生に文化活動や体験学習の場を提供し、文化・芸術に触れる機会を増やす。

(2) 事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 宿泊学習や芸術鑑賞は総合学習を支援する一環として開始した。
2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測 (どう変わったか、どうなるか) ・北海道教育委員会は、「全国学力・学習状況調査」について全国平均を目標としている。 ・「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果において、体力・運動能力の低下が懸念されているため、学力向上、体力・運動能力向上の取り組みが求められている。 ・平成27年度から各学校が独自に取り組む外部講師等を活用した「豊かな心を育む人づくり推進事業」への支援を始めた。

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業	☐ 統廃合・分割などによる変更	☐ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更
----------------------------------	--	--

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、28年度の内容は空欄としていたことがあります。

		単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円		
		地 方 債	円		
		その他(使用料等)	円	350,000	
		一 般 財 源	円	2,371,063	2,042,062
		事業費計 (A)	円	2,721,063	2,042,062
	人件費	正職員従事人数	人	3	3
		人工数(業務量)	年間	0.2607	0.1607
		人件費計 (B)	円	2,148,056	1,250,176
	トータルコスト(A)+(B)		円	4,869,119	3,292,238
活 動 指 標	芸術鑑賞及び宿泊学習総日数		日	7	7
	託児回数		回	1	87

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
いきいきふるさと推進事業助成金(教育振興費)	円	350,000		
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 豊かな心を育む人づくり推進事業報償(外部講師による講話・講演)

学校名	月日	講師名	対象学年	講演内容	講師謝礼
芽室中学校	7月7日	道見 里美	全学年	「やる気を引き出す魔法の質問」	30,000
上美生中学校	12月7日	山中 正裕	全学年	「自分らしく生きること」	5,000
計					35,000

2 芸術鑑賞 700,000円

中学校	
作 品	永遠の夏休み 出演者:劇団たんぽぽ 企画・製作:劇団たんぽぽ
日 時	○平成29年9月14日(木) ・午前～上美生中学校・芽室西中学校 ・午後～芽室中学校
会 場	芽室町中央公民館 大ホール

3 芽室町内児童・生徒作品展示会

- ①日 時 平成29年12月8日(金)～13日(水) 午前9時～午後8時(最終日は午後3時まで)
 ②会 場 芽室町中央公民館(1階ロビー)

4 芽室町内児童・生徒文集「芽がしわ」発行

5 参観日託児 1,990円

学 校	実施月	計	回数
芽室中学校	7月	0	0
	12月	0	0
上美中小学校	7月	1	1
芽室西中学校	7月	0	0
	12月	0	0
計		1	1

※芽室中、芽室西中は申し込んでいたが、希望者なしのため利用実績なし。

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
9 教育費	1 教育総務費	3 教育振興費	210205	児童生徒支援事業

事務事業名	児童生徒支援事業	事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	不明	年度から 年度まで
-------	----------	---------	--------	--------------	----	--------------

(1) 事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要)
①児童生徒・教職員・保護者へのカウンセリング、助言・提言、情報収集・提供及び不登校児童生徒に対する支援を行う。
②全小学校と上美生中学校に英語講師を派遣し、国際交流を図るとともに英語指導を行う。
③個別の支援が必要な児童生徒に学校生活での支援を行う。
2.対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など)
①児童生徒、教職員、保護者
②小学校の児童、上美生中学校の生徒
③個別の支援が必要な対象児童
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)
①児童生徒の問題行動等の未然防止を図る
②外国の言葉や文化、習慣に触れる機会を与え、豊かな国際感覚を培うとともに、英語によるコミュニケーション能力を育成する
③個別な支援が必要な児童一人ひとりが、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善しながら自立を図っていく

(2) 事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景
①児童生徒の問題行動の増加と学校教育推進のため、専門的知識を有するアドバイザー等の配置が必要となった。
②総合的な学習の時間での国際理解教育推進のため。
③個別の学習指導補助及び身体介助等が必要な児童生徒を支援するため。
2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測 (どう変わったか、どうなるか)
児童・生徒が抱える悩み、問題行動が多様化し、学校と保護者だけでは対応しきれない部分が生じている。
平成23年度から小学校における外国語活動(英語)の授業が5・6年生で必修となったことから、英語講師の派遣を民間会社に委託し実施している。
また、平成32年度からは、新学習指導要領により、小学校中学年への外国語活動導入、小学校高学年への英語教科化等が本格実施されるが、平成30年度から先行実施が始まる。

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業	☐ 統廃合・分割などによる変更	☐ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更
----------------------------------	--	--

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、28年度の内容は空欄としていたことがあります。

			単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地 方 債	円			
		その他(使用料等)	円	5,297,153	5,899,705	7,509,000
		一 般 財 源	円	50,387,564	55,284,354	70,022,000
		事業費計 (A)	円	55,684,717	61,184,059	77,531,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	3	3
		人工数(業務量)	年間	0.3857	0.3696	
		人件費計 (B)	円	3,178,003	2,875,327	
トータルコスト(A)+(B)		円	58,862,720	64,059,386		
活 動 指 標		スクールライフアドバイザー・学校適応指導教室指導員人数	人	2	2	2
		派遣講師人数		1	1	1
		教育活動指導助手・支援員人数		16	18	20

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
臨職労働保険個人負担金(教育振興費)	円	5,297,153	5,899,705	7,509,000
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

児童・生徒の支援のため、以下のとおり専門の職員を配置した。

	職種	区分	内容
1	スクールライフアドバイザー	報酬職員	児童生徒へのカウンセリング、教職員・保護者への助言・提言、情報収集・提供を行う。
2	英語講師(AET)	業務委託	小学校、中学校にて国際交流を図るとともに、英語指導を行う。
3	学校適応指導教室指導員	臨時職員	学校適応指導教室「ゆうゆう」にて、登校に支援が必要な児童生徒の指導を行う。
4	教育活動指導助手	報酬職員	普通学級にて、困り感のある児童生徒への指導の補助を行う。
5	学校支援員	臨時職員	特別支援学級在籍で個別の支援が必要な児童生徒への支援を行う。

1 スクールライフアドバイザー活動状況

(1) 学校別相談件数

	芽室小学校	上美生小学校	芽室西小学校	芽室南小学校	芽室中学校	上美生中学校	芽室西中学校	合 計
児童生徒	3		3		56	1	19	82
教職員	28	3	76	2	233	37	75	454
保護者	18	1	46	1	59	5	29	159
計	49	4	125	3	348	43	123	695

※その他348件(卒業生及び卒業生保護者134件、関係機関等214件)

※参考 平成29年5月1日現在児童生徒数及び教職員数

	芽室小学校	上美生小学校	芽室西小学校	芽室南小学校	芽室中学校	上美生中学校	芽室西中学校	合 計
児童生徒	707	39	317	118	449	23	183	1,836
教職員	45	11	26	17	32	11	19	161

(2) 相談内容別件数(重複あり)

不登校	学校生活	友人関係	自分自身	家族	進路	その他	合 計
382	790	12	33	25	14	331	1,587

※学校生活…学習、部活、いじめ 自分自身…性格、行動、身体 その他…発育、養育相談など

2 英語講師派遣状況 委託料 4,911,840円

株式会社インタラックに英語講師の派遣業務を委託し、小学校4校で外国語活動などの国際理解教育を行うとともに、上美生中学校で英語指導を行った。

	芽室小学校	上美生小学校	芽室西小学校	芽室南小学校	上美生中学校	合 計
年間配置日数	72	30	41	40	37	220
年間授業時間数	218	60	142	83	87	590

3 学校適応指導教室指導員の活動状況

指導員を1名配置し、月曜日～金曜日の午前中、学校適応指導教室にて児童生徒への指導を行った。
平成29年度末の在籍児童生徒数10名。

4 教育活動指導助手の活動状況

芽室小学校に4名、芽室西小学校に3名、芽室中学校に1名、芽室西中学校に1名、合計9名を配置した。

5 支援員の活動状況

芽室小学校に5名、芽室西小学校に2名、芽室南小学校に1名、芽室中学校に1名の合計9名を配置した。

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
9 教育費	1 教育総務費	3 教育振興費	210206	大学等就学支援事業

事務事業名	大学等就学支援事業	事務事業 の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 50 年度から 年度まで
-------	-----------	-------------	--------	--------------	--------------------

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要)

- ①私立高等学校生徒の授業料補助申請の受付・審査・交付
②大学等奨学金申請の受付・審査・貸付

2. 対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など)
経済的理由により支援を必要とする私立高等学校に在学させて
いる世帯の保護者及び大学等の就学者

3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)
義務教育終了後の就学機会の確保及び経済的負担の軽減を
図る。

(2) 事務事業の環境変化

1. この事務事業を開始した背景

就学機会の確保と経済的負担の軽減を図るた
め。

2. 事務事業を取り巻く状況と今後の予測
(どう変わったか、どうなるか)

・社会的経済状況から、奨学金の返済が滞って滞
納繰り越しになったり、連帯保証人を通じ、返済す
るケースが出てきた。

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業 ☐ 統廃合・分割などによる変更 ☐ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、28年度の内容は空欄としていたことがあります。

			単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地 方 債	円			
		その他(使用料等)	円	20,130,000	18,350,000	15,990,000
		一 般 財 源	円	△ 10,182,000	△ 2,975,850	1,983,000
		事業費計 (A)	円	9,948,000	15,374,150	17,973,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	3	3
		人工数(業務量)	年間	0.0932	0.0965	
		人件費計 (B)	円	767,928	750,728	
トータルコスト(A)+(B)		円	10,715,928	16,124,878		
活 動 指 標		私立高等学校授業料補助申請件数	件	24	39	39
		大学等奨学金貸付申請件数	件	18	22	22

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
大学等奨学金貸付金元金収入	円	20,130,000	18,350,000	15,990,000
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事 務 事 業 の 成 果 に 関 す る 説 明

1 私立高等学校生徒授業料補助 1,074,150円

○ 認定者 月額 6,000円以内 14人、月額 3,000円以内 24人

※ うち補助金支給対象者(自己負担0円の場合は支給無し) 月額 6,000円以内 7人、月額 3,000円以内 24人

	町内生徒数	申請者数	認定者数		不認定者数
			6,000円補助	3,000円補助	
帯広大谷高等学校	57	19	5	14	
帯広北高等学校	5				
白樺学園高等学校	33	12	3	8	1
江陵高等学校	11	3	3		
池上学院帯広キャンパス					
星槎国際高等学校	2	1	1		
十勝管外	12	4	2	2	
合 計	120	39	14	24	1
				38	

2 大学等奨学金の貸付 14,300,000円

○ 平成29年度 通常貸付分

貸付者 17人(申請者 17人)

・入学金 @300,000円 × 6人 = 1,800,000円

・修学金 @500,000円 × 17人 = 8,500,000円

合計貸付金額 10,300,000円

○ 平成29年度入学前貸付分(平成30年度新入学生分)

貸付者 5人(申請者 5人)

・入学金 @300,000円 × 5人 = 1,500,000円

・修学金 @500,000円 × 5人 = 2,500,000円

合計貸付金額 4,000,000円

(人)

		1年		2年		3年		4年		計	
		通常	年度前	通常	年度前	通常	年度前	通常	年度前	通常	年度前
大学院	国公立										
	私立										
大 学	国公立	1				1		1		3	
	私立	3	1	2		5		1		11	1
短期大学	国公立										
	私立	1		1						2	
専門学校	国公立		1								1
	私立	1	2							1	2
その他	国公立										
	私立		1								1
計	国公立	1	1			1		1		3	1
	私立	5	3	3		5		1		14	4

○ 平成29年度末奨学金償還状況

内 容	実 績
平成29年度償還人数	153人(うち滞納繰越者1名)
平成29年度償還予定額	18,430,000円
平成29年度償還滞納繰越額	80,000円
平成29年度償還額	18,350,000円
償還未済人数	168人
償還未済額	130,780,000円

H28末貸付残高 + H29貸付金 + (H29償還金 + 繰上償還金) = H29末貸付残高
 134,830 + 14,300 + (△16,420 + △1,930) = 130,780 (千円)
 ※平成29年度中増減高…△4,050(千円) 【H28・29滞納繰越160千円含む】

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
9 教育費	1 教育総務費	5 給食センター管理費	210301	学校給食センター施設維持管理事業

事務事業名	学校給食センター施設維持管理事業	事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 49 年度から 年度まで
-------	------------------	---------	--------	--------------	--------------------

(1) 事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 学校給食業務を円滑・効果的に実施するための施設設備について、適切な維持管理を行う事業。
2.対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など) 学校給食センター施設、機械設備。
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 学校給食業務がスムーズに行えるよう、日常の保守点検を怠りなく実施し、学校給食センターの施設や機械設備のトラブルに迅速に対応する。

(2) 事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 昭和49年にセンター方式での学校給食が開始され、施設の維持管理が必要になった。平成13年には現在の学校給食センター施設の供用が開始された。
2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測 (どう変わったか、どうなるか) 現在の学校給食センターは、建設後17年が経ち、設備・調理機器については、修繕費が増加傾向にある。安全安心な学校給食を提供するためにも、平成27年度に策定した「給食センター施設整備・備品等購入年次計画」に基づき設備・機器の更新、緊急修繕に対応していく。

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業 ☐ 統廃合・分割などによる変更 ☐ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、28年度の内容は空欄としていくことがあります。

		単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円		
		地 方 債	円		
		その他(使用料等)	円	174,534	22,055,000
		一 般 財 源	円	41,947,776	45,484,000
		事業費計 (A)	円	42,122,310	67,539,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2
		人工数(業務量)	年間	0.5546	0.5404
		人件費計 (B)	円	4,569,667	4,204,077
	トータルコスト(A)+(B)		円	46,691,977	77,899,391
活動指標	施設維持管理費用		円	42,122,310	73,695,314
					67,539,000

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
学校給食試食代	円	45,980	51,984	38,000
給食センター職員給食代	円	128,554	128,440	147,000
寄附金管理基金繰入金	円		6,078,008	21,870,000
	円			
	円			
	円			

事 務 事 業 の 成 果 に 関 する 説 明

1 施設管理委託料の内訳

①特別清掃業務	1回／年	548,640 円	(株)かんきょう
②警備業務	年間	180,144 円	セコム(株)
③施設管理業務	年間	2,955,528 円	(株)かんきょう
④消防設備点検業務	2回／年	48,276 円	(株)かんきょう
⑤電気工作物保安管理業務	6回／年	342,144 円	(財)北海道電気保安協会
⑥ばいじん量測定業務	2回／年	64,800 円	カンエイ実業(株)帯広営業所
⑦機械設備保守点検業務	年間	993,600 円	(株)日本サーモエナジー旭川営業所
⑧調理機具保守点検業務	2回／年	158,328 円	日本調理機(株)北海道支店
⑨事業系廃棄物収集運搬業務	年間	209,490 円	(株)かんきょう
⑩貯水槽清掃業務	1回／年	34,560 円	クリーン開発(株)
⑪廃水処理施設清掃委託業務	1回／2年	524,880 円	(株)宮間工業
⑫アスベスト測定調査分析委託業務		151,200 円	(株)ズコーシャ
合 計		6,211,590 円	

2 光熱水費の推移(過去5年間)

区 分		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
電気料	使用量(kW)	417,978	422,760	479,598	428,508	434,386
	金額	7,955,747	8,823,681	10,880,774	9,813,149	10,479,626
水道料	使用量(m ³)	10,727	10,341	10,753	10,229	9,941
	金額	4,653,002	4,597,971	4,797,456	4,565,431	4,437,905
ガス	使用量(m ³)	1,895	1,907	1,977	1,945	1,894
	金額	1,337,176	1,382,709	1,519,538	1,494,667	1,456,488
重油	使用量(ℓ)	102,000	112,500	112,600	98,900	107,600
	金額	10,366,650	11,273,256	8,451,324	6,792,444	9,048,672

3 建設事業等

冷温水発生機冷却塔更新工事 32,994,000円 (株)宮間工業

- 4 施設維持管理用備品購入 2,003,400円
 フライ兼用ガス回転釜 2台 1,890,000円
 デジタル台秤 1台 113,400円

(学校教育課 給食係)

建設事業等の説明						(単位:円)
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備考
		国道支出金	起債	その他	一般財源	
冷温水発生機冷却塔更新工事	32,994,000			6,078,008	26,915,992	(株)宮間工業 H29.5.15～H29.8.31
合計	32,994,000			6,078,008	26,915,992	

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
9 教育費	1 教育総務費	5 給食センター管理費	210304	給食材料購入事業

事務事業名	給食材料購入事業	事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 49 年度から 年度まで
-------	----------	---------	--------	--------------	--------------------

(1) 事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 学校給食の献立に基づいて給食用物資を調達する。物資購入方法は、随意契約及び管内町村との共同入札購入による。献立作成は、栄養教諭が行う。
2.対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など) 町内小中学校7校の児童生徒及び教職員が食する給食。給食センター職員と保護者等試食会で食する給食も含む。
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 望ましい食習慣の形成。児童生徒の心身の発達と健康増進を図る。

(2) 事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 児童生徒の心身の健全な発達のために、バランスのとれた栄養豊かな食事を提供することを目的に学校給食を開始した。
2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測 (どう変わったか、どうなるか) 家庭における食習慣が変化し、食事内容に個人差が見受けられるようになり、最近の児童生徒の食に関わる実態を踏まえ、学校給食を「生きた教材」として活用し、食育の推進の役割を果たすように変わってきている。また、安全安心な学校給食を提供するため、地産地消を推進するためにも地元産食材の使用割合の向上を求められるようになってきている。

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業	☐ 統廃合・分割などによる変更	☐ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更
----------------------------------	--	--

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、28年度の内容は空欄としていたことがあります。

		単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円		
		地 方 債	円		
		その他(使用料等)	円	99,979,338	100,632,000
		一 般 財 源	円	764,199	47,000
		事業費計 (A)	円	100,743,537	100,679,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2
		人工数(業務量)	年間	0.2906	0.3067
		人件費計 (B)	円	2,394,420	2,385,993
	トータルコスト(A)+(B)		円	103,137,957	102,476,017
活動指標	給食材料代		千円	100,744	100,091

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
学校給食費保護者負担金	円	98,911,112	97,812,224	99,502,000
学校給食試食代	円	283,370	319,726	232,000
給食センター職員給食代	円	784,856	784,160	898,000
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 平成29年度学校給食費保護者負担金内訳(小学校@232円、中学校@282円)

芽室小学校	149,405食	34,661,960円	芽室中学校	95,023食	26,796,486円
芽室南小学校	26,993食	6,262,376円	上美生中学校	6,570食	1,852,740円
上美生小学校	9,969食	2,312,808円	芽室西中学校	39,887食	11,248,134円
芽室西小学校	67,681食	15,701,992円	中学校講師等	232食	65,424円
小学校講師等	168食	38,976円	中学校合計	141,712食	39,962,784円
小学校合計	254,216食	58,978,112円			

学校給食保護者負担金調定済額 98,940,896円 収入済額 97,812,224円

2 平成29年度学校給食試食・給食センター職員給食内訳

小学校及び給食センターでの試食 1,321食(食材代 306,472円)
 中学校での試食 47食(食材代 13,254円)
 給食センター職員給食 3,380食(食材代 784,160円)

3 平成29年度給食材料区域別購入内訳

区 域	業者数	購入金額	割 合
芽室町内	17業者	34,663,600円	34.63%
十勝管内	16業者	55,783,054円	55.73%
十勝管外	6業者	9,643,370円	9.64%
合 計	39業者	100,090,024円	100.00%

◎ 岐阜県揖斐川町 2業者195,749円(揖斐川給食)

4 平成29年度給食材料区分別購入内訳

区分	提供日数	購入金額	備考
牛乳等	205日	18,305,627円	牛乳=200ml
米飯	120日	6,109,858円	週3回
パン	43日	6,940,980円	週1回
麺類	42日	4,464,318円	週1回
副食	205日	63,762,313円	
特別行事食	1日	506,928円	紅白饅頭
合計		100,090,024円	

5 平成29年度学校給食食材産地内訳(めむろまると給食含む)

品 目	総数量(kg)	芽室産		十勝産		道内産		その他	
		数量(kg)	割合	数量(kg)	割合	数量(kg)	割合	数量(kg)	割合
米・麦・小麦粉	35,265	3,746	10.6%	10,999	31.2%	18,720	53.1%	1,800	5.1%
野菜類	49,066	22,926	46.7%	13,040	26.6%	6,117	12.5%	6,983	14.2%
肉類	11,787	1,047	8.9%	505	4.3%	10,235	86.8%		
卵・魚・味噌・豆腐類	11,651	33	0.3%	8,932	76.7%	898	7.7%	1,788	15.3%
小計	107,769	27,752	25.8%	33,476	31.0%	35,970	33.4%	10,571	9.8%
牛乳	76,581			76,581	100.0%				
合計	184,350	27,752	15.1%	110,057	59.7%	35,970	19.5%	10,571	5.7%

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
9 教育費	1 教育総務費	5 給食センター管理費	210307	めむろまるごと給食開催事業

事務事業名	めむろまるごと給食開催事業	事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	平成 17 年度から 年度まで
-------	---------------	---------	--------	--------------	--------------------

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要)
食育事業を拡大するため、学校給食を通し、年間9回地元産農畜産物を食材に使用した特別メニューを献立に取り入れる事業。
2. 対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など)
町内小中学校7校の児童生徒及び教職員。
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)
町の基幹産業である農業の大切さと食の安全安心さを学ばせ、食に対する意識を高めさせること。

(2) 事務事業の環境変化

1. この事務事業を開始した背景
食育教育の重要性から教育現場における食の指導推進を図るためそれまでの「バイキング給食」を見直し、平成17年度から、地元農畜産物を食材に使用した特別献立を学校給食に取り入れ実施する「めむろまるごと給食」を開始した。
2. 事務事業を取り巻く状況と今後の予測
(どう変わったか、どうなるか)
毎回、使用している芽室産の農畜産物を紹介する「しおり」を全校児童生徒に配付することにより、児童生徒も、芽室産の食材が給食にたくさん使用されていることを言葉だけでなく、肌で感じるようになってきている。今後も地元産の食材をより多く使った事業を行っていく。

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業 ☐ 統廃合・分割などによる変更 ☐ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、28年度の内容は空欄としていたことがあります。

			単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地 方 債	円			
		その他(使用料等)	円	23,760	45,360	18,000
		一 般 財 源	円	3,278,225	3,263,548	3,226,000
		事業費計 (A)	円	3,301,985	3,308,908	3,244,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2
		人工数(業務量)	年間	0.0159	0.0111	
		人件費計 (B)	円	131,009	86,353	
トータルコスト(A)+(B)		円	3,432,994	3,395,261		
活 動 指 標		実施回数	回	9	9	9

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
学校給食試食代	円	23,760	45,360	18,000
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 「めむろまるごと給食」実施状況

実施月日	メニュー	食数
5月19日	キーマカレー、牛乳、アスパラとひじきのごまサラダ	2,040食
6月23日	麦入りごはん、牛乳、じゃがいものみそ汁、豚肉の竜田揚げ、キャベツとアスパラの おかかあえ	2,042食
7月 7日	麦入りごはん、牛乳、実だくさん汁、豚肉のしょうが焼き、添え野菜	1,954食
9月 8日	ドライカレー、牛乳、切干大根のコールスローサラダ	2,043食
10月 6日	麦入りごはん、牛乳、五目野菜スープ、コーンハンバーグ、三色ポテトのサラダ	2,041食
11月10日	麦入りごはん、牛乳、椎茸とごぼうのみそ汁、ソース豚カツ、和風ミネラルサラダ	2,041食
12月15日	牛肉とごぼうのピラフ、牛乳、ポトフ、ゆり根とツナのサラダ	2,035食
2月 2日	豚ごぼう丼、牛乳、椎茸のみそ汁、じゃがいもオープン焼き	2,043食
3月12日	麦入りごはん、牛乳、きのこのコンソメスープ、長いもハンバーグ、チップスサラダ	2,044食

2 「めむろまるごと給食」試食数

252食

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
9 教育費	2 小学校費	1 学校管理費	210110	小学校施設維持管理事業

事務事業名	事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	不明	年度から 年度まで
小学校施設維持管理事業					

(1) 事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 小学校施設等の工事、修繕、備品購入、保守点検等管理委託
2.対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など) ・小学校児童 ・小学校施設
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 学校の施設管理を行い、必要に応じて工事、修繕、設備保守点検を実施し、教育環境の向上を目指す。

(2) 事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 学校教育法による施設管理。
2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測 (どう変わったか、どうなるか) 平成21年度の芽室小学校地震補強工事の実施により、町内小学校の耐震化率が100%となった。 環境教育や新エネルギービジョン推進のため、平成23年度から太陽光発電パネルの設置に取り組んでいるほか、児童の生活スタイルの変化から、トイレ洋式化を進めている。 学校施設は災害時に避難施設になることから、学校施設整備における防災機能の必要性がさらに高まっている。

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業	☐ 統廃合・分割などによる変更	☐ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更
----------------------------------	--	--

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、28年度の内容は空欄としていたことがあります。

		単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円	3,306,000	
		地 方 債	円	6,500,000	37,000,000
		その他(使用料等)	円	195,476	23,387,000
		一 般 財 源	円	196,053,694	99,162,000
		事業費計 (A)	円	206,055,170	159,549,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2
		人工数(業務量)	年間	0.1687	0.1714
		人件費計 (B)	円	1,390,016	1,333,417
	トータルコスト(A)+(B)		円	207,445,186	91,923,594
活動指標	修繕箇所数		件	129	129
	工事箇所数		件	6	2

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
学校施設開放事業利用者負担金(小学校管理費)	円	59,400	85,500	51,000
太陽光買電収入(小学校管理費)	円	136,076	101,089	136,000
芽室西小学校体育館改修事業債-H27繰越	円	6,500,000		
芽室西小学校学校施設環境改善交付金-H27繰越	円	3,306,000		
寄附金管理基金繰入金	円		2,343,000	3,200,000
日本スポーツ振興センタースポーツ振興くじ助成金	円			20,000,000
芽室西小学校体育館床改修事業債	円			37,000,000

事務事業の成果に関する説明

1 学校環境の整備

・校下の特色ある環境づくりとスケートリンクの整備を進めるため、学校環境整備及びスケートリンク造成費報償と地域PTAの協力、公務補による環境美化整備を図った。

計 1,519,546円

芽室小学校	379,977円
上美生小学校	379,992円
芽室西小学校	379,586円
芽室南小学校	379,991円

・各学校において、夏休み期間中に特別清掃を清掃業者に委託し、床やガラス磨き等を実施し、施設の環境整備を図った。

委託金額計 3,511,080円

受託業者 ・芽室ビル管理(株)～芽室小学校、上美生小学校
・(株)かんきょう～芽室西小学校、芽室南小学校

2 学校施設の整備

工事費計 15,357,600円

・設備改修 (15,357,600円)

上美生小学校校舎・体育館屋根塗装等工事	13,716,000円
上美生小学校サーモバルブ改修工事	1,641,600円

3 学校備品の整備

項目	金額	購入備品
一般備品	3,463,694円	掃除機、充電用クリーナー、スマート液晶視力計、粉末消火器、パイプバック台車、折りたたみ椅子、パソコン机、理科室用丸椅子、職員用椅子、保健室用ソファベットの、診察用寝台、教室用椅子、パイプ椅子、刈払機、ロータリーカッター、LED照明ワイヤレス視力検査機、除雪機、児童用机・椅子、ワンタッチテント用透明横幕

建設事業等の説明 (単位: 円)						
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備考
		国道支出金	起債	その他	一般財源	
上美生小学校サー モバルブ改修工事	1,641,600				1,641,600	(株)松山工業 H29.7.3~H29.8.31
上美生小学校校 舎・体育館屋根塗 装等工事	13,716,000				13,716,000	(株)渡辺建業 H29.8.7~H29.10.20
合 計	15,357,600				15,357,600	

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
9 教育費	2 小学校費	1 学校管理費	210111	小学校管理運営事業

事務事業名	小学校管理運営事業	事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	不明	年度から 年度まで
-------	-----------	---------	--------	--------------	----	--------------

(1) 事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) ・教職員人事、給与、服務規律関係事務 ・学校経営活動の推進 ・学校教育関係消耗品、管理経費の支出
2.対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など) ・小学校 ・教職員 ・児童
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) ・教育指導力の高い教職員を配置すると共に、教職員が安心して職務に専念できる環境を提供し、教育内容の質を高める。 ・開かれた学校経営の推進を図る。

(2) 事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 法律に基づく芽室町立学校教職員の服務監督、学校管理や義務教育の充実。
2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測 (どう変わったか、どうなるか) ・学校管理経費の財源確保が課題である。

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業	☐ 統廃合・分割などによる変更	☐ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更
----------------------------------	--	--

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、28年度の内容は空欄としていたことがあります。

			単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地 方 債	円			
		その他(使用料等)	円	528,354	545,501	552,000
		一 般 財 源	円	15,466,767	14,938,906	16,024,000
		事業費計 (A)	円	15,995,121	15,484,407	16,576,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2
		人工数(業務量)	年間	0.4684	0.4796	
		人件費計 (B)	円	3,859,416	3,731,079	
トータルコスト(A)+(B)		円	19,854,537	19,215,486		
活動指標		消耗品の購入に要した経費	円	8,602,576	8,058,180	8,588,000

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
私用電話料(小学校管理費)	円	170		
臨職労働保険料個人負担金(小学校管理費)	円	528,184	545,501	552,000
	円			
	円			
	円			
	円			

事 務 事 業 の 成 果 に 関 す る 説 明

1 開かれた学校づくり推進事業

・各学校が保護者や地域住民の参画を求め、意見交換を行い、学校・保護者・地域住民がパートナーとしてすべての子どもたちを健やかに育むことを目的として設置される「学校運営地域協力者会議」の運営に対し支援を行った。

小学校名	金 額
芽室小学校	60,000円
上美生小学校	54,000円
芽室西小学校	62,370円
芽室南小学校	54,914円
計	231,284円

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
9 教育費	2 小学校費	1 学校管理費	210112	教員住宅管理事業(小)

事務事業名	教員住宅管理事業(小)	事務事業 の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	不明	年度から 年度まで
-------	-------------	-------------	--------	--------------	----	--------------

(1) 事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) ・学校教職員住宅の維持管理
2.対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など) ・教職員 ・教職員住宅
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) ・教職員住宅の管理 ・必要に応じ修繕、工事の実施

(2) 事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 学校教職員の福利厚生事業に伴う住宅整備。
2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測 (どう変わったか、どうなるか) 教職員住宅の老朽化が進んでいることから、計画的な修繕を行い、長寿命化を図る必要がある。また、教職員住宅の今後の方向性を検討するため、アンケート調査を実施した。

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業	☐ 統廃合・分割などによる変更	☐ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更
----------------------------------	--	--

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、28年度の内容は空欄としていたことがあります。

		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円		
		地方債	円		
		その他(使用料等)	円	2,489,200	2,159,900
		一般財源	円	13,794,697	13,675,505
		事業費計(A)	円	16,283,897	15,835,405
	人件費	正職員従事人数	人	2	2
		人工数(業務量)	年間	0.0888	0.0891
		人件費計(B)	円	731,674	693,159
	トータルコスト(A)+(B)		円	17,015,571	16,528,564
活動指標	修繕箇所数		件	27	25
	工事箇所数(戸数)		戸	3	1

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
教員住宅(小学校)貸付収入	円	2,489,200	2,159,900	2,062,000
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 教職員住宅の整備

工事費計 13,986,000円

・教職員住宅の老朽化に対応し、居住環境の向上を図るため、屋根外壁・内装改修等の工事を実施した。

麻生町教職員住宅改修工事(その1)

10,778,400円 (F14 屋根外壁改修)

麻生町教職員住宅改修工事(その2)

3,207,600円 (F13-4内部改修)

建設事業等の説明 (単位: 円)						
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備考
		国道支出金	起債	その他	一般財源	
麻生町教職員住宅 改修工事(その 1)	10,778,400				10,778,400	(株)渡辺建業 H29.9.11~H29.11.10
麻生町教職員住宅 改修工事(その 2)	3,207,600				3,207,600	(有)高橋工務店 H29.12.11~H30.2.5
合 計	13,986,000				13,986,000	

款		項		目		事業番号	決算書上の事業名
9	教育費	2	小学校費	1	学校管理費	210224	学校健康診断実施事業(小学校)

事務事業名	学校健康診断実施事業(小学校)	事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	不明	年度から 年度まで
-------	-----------------	---------	--------	--------------	----	--------------

(1) 事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 学校健診(内科検診、結核検診、歯科検診、尿検査、心臓検診等)を実施する。 また、町単独の事業として生活習慣病検査(血液検査)を小学校4年生の児童を対象に実施する。 教職員健康診断を実施する。
2.対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など) 小学校の児童 小学校の教職員数
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 身体の変異の早期発見と適切な指導を行う。

(2) 事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 学校教育法及び学校保健安全法による
2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測 (どう変わったか、どうなるか) 学校保健法(現在の学校保健安全法)が定められた時代(昭和30年代)には医療機関も少なく、医療費助成もあまりなかったことから、各家庭にとって学校での健康診断は病気の発見など大きな役割を果たしていた。 現在は、当時と比べて医療機関も増え、幼児の医療費軽減措置もあり各家庭で就学前に既に受診・治療をしている場合が多くなっているため、学校での健診の果たす役割は病気の未然防止などの意味合いが強くなってきている。 また、小学校での集団フック洗口の実施が道教委・十勝教育局から求められている。

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業	☐ 統廃合・分割などによる変更	☐ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更
----------------------------------	--	--

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、28年度の内容は空欄としていたことがあります。

		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円		
		地方債	円		
		その他(使用料等)	円		
		一般財源	円	8,603,146	8,810,815
		事業費計(A)	円	8,603,146	8,810,815
	人件費	正職員従事人数	人	3	3
		人工数(業務量)	年間	0.1874	0.1603
		人件費計(B)	円	1,544,096	1,247,309
	トータルコスト(A)+(B)		円	10,147,242	10,058,124
活動指標	各種健康診断受診者延人数(児童)		人	3,914	3,818
	各種健康診断受診者数(教職員)		人	98	100

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事 務 事 業 の 成 果 に 関 する 説 明

1 主な施策の成果

(1) 生活習慣病検査

531,612円

社会環境や生活様式の変化に伴って、今まで成人病と呼ばれていた生活習慣病の傾向が子どもたちに増加していると言われており、生活習慣病の予防のためには、子どもの頃からの適切な健康習慣を身につけることが望まれている。

教育委員会では、将来を担う児童が、生涯にわたる健康づくりを積極的に進めるために、保護者の同意を得て生活習慣病検査を実施している。

・児童1人当たり 1,468円(血液成分分析業務委託料) 1,070円(医師による診断委託料)

・看護師1人当たり 5,184円(採血業務委託料)

・朝食としておにぎり及びお茶を提供

対象 小学4年生 209人 受診者 141人(受診率 67.5%) 要指導・要治療者 9人(6.4%)

検査の結果、要指導及び要治療の結果が出た児童について、子育て支援課の保健師・栄養士による『結果説明会』を実施し、健康・栄養相談などの事後指導を実施。

(2) 尿検査

165,110円

・児童1人当たり 130円(税抜)

受診人数 全学年 1,176人

(3) 心臓検診

213,840円

・児童1人当たり 1,200円(税抜)

受診人数 1年生及び昨年度欠席者 165人

(4) 歯科検診

1,475,460円

・児童1人当たり 1,260円

受診人数 全学年 1,171人

(5) 内科健康診断

1,770,800円

・児童1人当たり 1,520円

受診人数 全学年 1,165人

(6) 再検査(心臓検診)

5,560円(1人)

(7) 学校医委嘱

・学校医 2人 学校歯科医 5人

款		項		目		事業番号	決算書上の事業名
9	教育費	2	小学校費	1	学校管理費	210227	要・準要保護児童就学援助事業(小学校)

事務事業名	要・準要保護児童就学援助事業(小学校)	事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	不明	年度から 年度まで
-------	---------------------	---------	--------	--------------	----	--------------

(1) 事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 就学困難な児童の保護者に対し、就学に必要な経費の一部補助を行う。(要保護世帯の児童は修学旅行費が補助対象)
2.対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など) 就学困難と認められる児童の保護者
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 就学困難な児童の保護者の経済的負担を軽減する

(2) 事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 学校教育法により、経済的理由によって、就学困難と認められる学齢児童の保護者に対して、市町村は必要な援助を与えることとなった。
2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測 (どう変わったか、どうなるか) 平成15年度の制度改正により、対象者が減少した。また、平成17年度から準要保護について、国の補助から地方財政措置に代わった。 PTA会費を平成23年度からの支給対象経費として追加した。 平成25年8月に生活扶助基準の見直しが行われたが、できる限り就学援助制度に影響が出ないようという国の方針で、平成25年度から基準を据え置いている。 平成28年度末から、新入学用品費の年度前支給について、国・道から検討を求める通知があり、平成30年度入学児童分から、前年度(平成29年度中)に支給する「入学前支給」を実施した。

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業	☐ 統廃合・分割などによる変更	☐ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更
----------------------------------	--	--

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、28年度の内容は空欄としていたことがあります。

		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円	11,000	23,000
		地方債	円		
		その他(使用料等)	円		
		一般財源	円	14,842,657	16,904,018
		事業費計(A)	円	14,842,657	16,915,018
	人件費	正職員従事人数	人	3	3
		人工数(業務量)	年間	0.1223	0.1288
		人件費計(B)	円	1,007,700	1,002,191
	トータルコスト(A)+(B)		円	15,850,357	17,917,209
活動指標	児童数		人	1,204	1,181

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
要保護児童生徒援助費国庫補助金	円		11,000	23,000
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 就学援助費内訳

項 目	人 数	金 額
学 用 品 費	208 人	2,346,609 円
通 学 用 品 費 等	208 人	699,749 円
体 育 実 技 用 具 費	58 人	672,220 円
新 入 学 学 用 品 費	29 人	1,177,400 円
修 学 旅 行 費	52 人	1,199,100 円
給 食 費	208 人	9,106,464 円
P T A 会 費	148 件	669,407 円
医 療 費	48 人	313,269 円
計		16,184,218 円

2 就学援助認定率(年度末)

学 校 名	児童数	認定者数	認定率
芽 室 小 学 校	707人	131人	18.53%
上 美 生 小 学 校	39人	7人	17.95%
芽 室 西 小 学 校	317人	60人	18.93%
芽 室 南 小 学 校	118人	7人	5.93%
計	1,181人	205人	17.36%

3 新入学用品費入学前支給

学 校 名	支給人数	金 額
芽 室 小 学 校	10人	406,000 円
上 美 生 小 学 校	1人	40,600 円
芽 室 西 小 学 校	7人	284,200 円
芽 室 南 小 学 校		
計	18人	730,800 円

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
9 教育費	2 小学校費	1 学校管理費	210239	教材・教具整備事業(小学校)

事務事業名	教材・教具整備事業(小学校)	事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	不明	年度から 年度まで
-------	----------------	---------	--------	--------------	----	--------------

(1) 事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 小学校4校の教育課程に係る備品、消耗品及び図書等の購入・整備を行う。
2.対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など) 小学校4校の児童と教職員
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 授業の実施状況に合わせた教材・教具を整備することにより、効率的・効果的な授業の実施等、学校教育の充実を図る。

(2) 事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 学校教育法第5条により、学校の設置者は、その設置する学校を管理し、経費を負担することとされているため、公立小学校の設置者である町が事業を行っている。
2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測 (どう変わったか、どうなるか) ・平成32年度から全面実施される新学習指導要領では、重要事項の一つに情報活用能力(プログラミング教育を含む)の育成が示されており、計画的なICT機器の整備が求められる。 ・7年おきに更新計画のある教職員及び児童生徒用のパソコン機器等の更新とタブレットの導入計画のすりあわせが必要。 ・ICT教育の推進には、インターネット接続スピード・容量の確保、全教室無線LAN整備、セキュリティ強化等の基幹整備が必要。

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業	☐ 統廃合・分割などによる変更	☐ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更
----------------------------------	--	--

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、28年度の内容は空欄としていたことがあります。

		単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円		
		地 方 債	円		
		その他(使用料等)	円	472,407	
		一 般 財 源	円	30,091,784	30,056,000
		事業費計 (A)	円	28,022,005	30,056,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	3
		人工数(業務量)	年間	0.2247	0.3288
		人件費計 (B)	円	2,557,921	
	トータルコスト(A)+(B)		円	31,943,216	30,579,926
活動指標	購入額		円	30,091,784	30,056,000

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
教科書採択協議会運営負担金	円		364,000	
臨時労働保険個人負担金(小学校管理費)	円		108,407	
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 主な施策の成果

(1) 情報教育推進のためのパソコン設置 17,394,669 円

国の基準を満たすための教育用コンピュータ導入

・平成26年度 更新導入

～北海道市町村備荒資金組合を利用し、平成30年度までの5年払い

芽室小学校	パソコン	94 台	プリンタ	9 台
上美生小学校	パソコン	28 台	プリンタ	5 台
芽室西小学校	パソコン	71 台	プリンタ	8 台
芽室南小学校	パソコン	47 台	プリンタ	6 台

(2) 鍵盤ハーモニカ購入費助成金 329,400 円

小学1年生を対象に購入費の助成

1,800 円 × 160 人 = 288,000 円 … 全世帯対象分

1,800 円 × 23 人 = 41,400 円 … 要保護・準要保護世帯加算分

(3) 教材備品の整備 1,215,270 円

項 目	金 額	購 入 物 品
教育課程教材備品	1,215,270 円	ホットプレート、フロアスタンドスクリーンほか

(4) 学校図書館の状況

学校名	H28年度末冊数 A	購入・寄贈 B	廃棄 C	H29年度末冊数 D=A+B-C	図書標準達成率 D/E	図書標準冊数 E
芽室小学校	13,037	173	0	13,210	103.5%	12,760
上美生小学校	5,704	231	100	5,835	114.9%	5,080
芽室西小学校	11,031	195	331	10,895	114.0%	9,560
芽室南小学校	8,251	92	114	8,229	117.6%	7,000
合 計	38,023	691	545	38,169	111.0%	34,400

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
9 教育費	3 中学校費	1 学校管理費	210120	中学校施設維持管理事業

事務事業名	中学校施設維持管理事業	事務事業 の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	不明	年度から 年度まで
-------	-------------	-------------	--------	--------------	----	--------------

(1) 事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 中学校施設等の工事、修繕、備品購入、保守点検等管理委託
2.対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など) ・中学校生徒 ・中学校施設
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 学校の施設管理を行い、必要に応じて修繕、工事、設備保守点検を実施し、教育環境の向上を目指す。

(2) 事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 学校教育法による施設管理。
2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測 (どう変わったか、どうなるか) 平成18年度の芽室中学校地震補強工事の実施により、町内中学校の耐震化率が100%となった。 環境教育や新エネルギービジョン推進のため、平成21年度から太陽光発電パネルの設置に取り組んでいるほか、生徒の生活スタイルの変化から、トイレ洋式化を進めている。 学校施設は災害時に避難施設になることから、学校施設整備における防災機能の必要性がさらに高まっている。

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業	☐ 統廃合・分割などによる変更	☐ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更
----------------------------------	--	--

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、28年度の内容は空欄としていたことがあります。

		単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円	62,861,000	
		地 方 債	円	91,700,000	
		その他(使用料等)	円	278,340	3,003,000
		一 般 財 源	円	93,607,746	76,159,000
		事業費計 (A)	円	93,886,086	79,162,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2
		人工数(業務量)	年間	0.1454	0.1508
		人件費計 (B)	円	1,198,034	1,173,158
	トータルコスト(A)+(B)		円	95,084,120	467,405,874
活 動 指 標	修繕箇所数		件	78	103
	工事箇所数		件	5	4

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
学校施設開放事業利用者負担金(中学校管理費)	円	251,100	159,750	176,000
太陽光買電収入(中学校管理費)	円	27,240	25,248	27,000
寄附金管理基金繰入金	円		2,130,000	2,800,000
芽室中学校学校施設環境改善交付金	円		62,861,000	
公共施設整備基金繰入金	円		186,000,000	
芽室中学校長寿命化等改修事業債	円		91,700,000	
	円			

事 務 事 業 の 成 果 に 関 す る 説 明

1 学校環境の整備

・校下の特色ある環境づくりとスケートリンクの整備を進めるため、学校環境整備及びスケートリンク造成費報償と地域PTAの協力、公務補による環境美化整備を図った。 計 859,430円

芽室中学校 360,000円
上美生中学校 199,430円
芽室西中学校 300,000円

・各学校において、夏休み期間中に特別清掃を清掃業者に委託し、床やガラス磨き等を実施し、施設の環境整備を図った。 委託金額計 2,233,440円

受託業者 ・芽室ビル管理(株)～芽室中学校、上美生中学校
・(株)半田美装 芽室支店～芽室西中学校

2 学校施設の整備

工事費計 397,796,400円

・設備改修 (365,558,400円)

芽室中学校体育館改修工事(機械設備) 38,448,000円
芽室中学校体育館改修工事(建築主体) 251,143,200円
芽室中学校体育館改修工事(電気設備) 23,986,800円
上美生中学校外壁・屋根塗装工事 48,578,400円
芽室西中学校北側物置改修工事 3,402,000円

・設備新設 (32,238,000円)

芽室中学校太陽光発電パネル設置工事 32,238,000円

3 学校備品の整備

項 目	金 額	購 入 備 品
一般備品	4,592,627円	エンジン刈払機、高圧洗浄機、除湿機、集塵機、大型ホワイトボード、スタッキング椅子・台車、家庭科室用・物理室用丸椅子、職員用椅子、生徒用机・椅子、粉末消火器、カットアウトテーブル、歯科検診用ライト、加湿ストリーマー、2つ折り担架、担架収納ボックス、美術机、支柱整理棚、除雪機、ラベルライター、テプラPDR、シングルワゴン

建設事業等の説明 (単位: 円)						
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備考
		国道支出金	起債	その他	一般財源	
芽室中学校体育館 改修工事(機械設備)	38,448,000	62,861,000	91,700,000	153,800,000	5,217,000	石崎設備工業(株) H29.7.3~H29.12.15
芽室中学校体育館 改修工事(建築主体)	251,143,200					丸富士三浦・千葉共同企業体 H29.7.3~H29.12.15
芽室中学校体育館 改修工事(電気設備)	23,986,800					道産商事(株) H29.7.3~H29.12.15
芽室中学校太陽光 発電パネル設置工事	32,238,000			32,200,000	38,000	道産商事(株) H29.6.19~H29.9.22
芽室西中学校北側 物置改修工事	3,402,000				3,402,000	(有)熊谷建設 H29.10.30~H29.11.27
上美生中学校外 壁・屋根塗装工事	48,578,400				48,578,400	鍵谷・工藤・ヤマウチ建装 共同企業体 H29.7.18~H29.10.13
合 計	397,796,400	62,861,000	91,700,000	186,000,000	57,235,400	

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
9 教育費	3 中学校費	1 学校管理費	210121	中学校管理運営事業

事務事業名	中学校管理運営事業	事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	不明	年度から 年度まで
-------	-----------	---------	--------	--------------	----	--------------

(1) 事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) ・教職員人事、給与、服務規律関係事務 ・学校経営活動の推進 ・学校教育関係消耗品、管理経費の支出
2.対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など) ・中学校 ・教職員 ・生徒
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) ・教育指導力の高い教職員を配置すると共に、教職員が安心して職務に専念できる環境を提供し、教育内容の質を高める。 ・開かれた学校経営の推進を図る。

(2) 事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 法律に基づく茅室町立学校教職員の服務監督、学校管理や義務教育の充実。
2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測 (どう変わったか、どうなるか) ・学校管理経費の財源確保が課題である。

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業	☐ 統廃合・分割などによる変更	☐ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更
----------------------------------	--	--

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、28年度の内容は空欄としていたことがあります。

			単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地 方 債	円			
		その他(使用料等)	円	528,111	495,772	481,000
		一 般 財 源	円	12,803,228	12,929,663	13,777,000
		事業費計 (A)	円	13,331,339	13,425,435	14,258,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2
		人工数(業務量)	年間	0.3918	0.4039	
		人件費計 (B)	円	3,228,264	3,142,166	
トータルコスト(A)+(B)		円	16,559,603	16,567,601		
活 動 指 標		消耗品の購入に要した経費	円	6,640,172	6,826,460	7,228,000

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
私用電話料(中学校管理費)	円	15,850	15,320	
臨職労働保険個人負担金(中学校管理費)	円	512,261	480,452	481,000
	円			
	円			
	円			
	円			

事 務 事 業 の 成 果 に 関 す る 説 明

1 開かれた学校づくり推進事業

・各学校が保護者や地域住民の参画を求め、意見交換を行い、学校・保護者・地域住民がパートナーとしてすべての子どもたちを健やかに育むことを目的として設置される「学校運営地域協力者会議」の運営に対し支援を行った。

中学校名	金 額
芽室中学校	64,000円
上美生中学校	64,000円
芽室西中学校	63,854円
計	191,854円

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
9 教育費	3 中学校費	1 学校管理費	210122	教員住宅管理事業(中)

事務事業名	教員住宅管理事業(中)	事務事業 の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	不明	年度から 年度まで
-------	-------------	-------------	--------	--------------	----	--------------

(1) 事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) ・学校教職員住宅の維持管理
2.対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など) ・教職員 ・教職員住宅
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) ・教職員住宅の管理 ・必要に応じ修繕、工事の実施

(2) 事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 学校教職員の福利厚生事業に伴う住宅整備。
2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測 (どう変わったか、どうなるか) 教職員住宅の老朽化が進んでいることから、計画的な修繕な修繕を行い、長寿命化を図る必要がある。また、入居者のニーズの把握も必要と思われる。

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業	☐ 統廃合・分割などによる変更	☐ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更
----------------------------------	--	--

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、28年度の内容は空欄としていたことがあります。

		単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円		
		地 方 債	円		
		その他(使用料等)	円	2,280,000	1,885,200
		一 般 財 源	円	1,354,094	2,320,123
		事業費計 (A)	円	3,634,094	4,205,323
	人件費	正職員従事人数	人	2	2
		人工数(業務量)	年間	0.0932	0.0939
		人件費計 (B)	円	767,928	730,501
	トータルコスト(A)+(B)		円	4,402,022	4,935,824
活 動 指 標	修繕箇所数		件	14	10
	工事箇所数(戸数)		戸	1	1

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
教員住宅(中学校)貸付収入	円	2,280,000	1,885,200	1,789,000
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 教職員住宅の整備

工事費計 3,186,000円

・教職員住宅の老朽化に対応し、居住環境の向上を図るため、住宅屋根・外壁の塗装工事を実施した。

芽室西中学校教職員住宅屋根・外壁塗装工事

3,186,000円 (N-1、N-2内部改修)

建設事業等の説明 (単位:円)						
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備 考
		国道支出金	起 債	そ の 他	一般財源	
芽室西中学校教職員住宅屋根・外壁塗装工事	3,186,000				3,186,000	(株)ヤマウチ建装 H29.10.10~H29.11.24
合 計	3,186,000				3,186,000	

款		項		目		事業番号	決算書上の事業名
9	教育費	3	中学校費	1	学校管理費	210228	要・準要保護生徒就学援助事業（中学校）

事務事業名	要・準要保護生徒就学援助事業(中学校)	事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	不明	年度から 年度まで
-------	---------------------	---------	--------	--------------	----	--------------

(1) 事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 就学困難な生徒の保護者に対し、就学に必要な経費の一部補助を行う。(要保護世帯の生徒は修学旅行費が補助対象)
2.対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など) 就学困難と認められる生徒の保護者
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 就学困難な生徒の保護者の経済的負担を軽減する。

(2) 事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 学校教育法により、経済的理由によって、就学困難と認められる学齢生徒の保護者に対して、市町村は必要な援助を与えることとなった。
2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測 (どう変わったか、どうなるか) 平成15年度の制度改正により、対象者が減少した。また、平成17年度から準要保護について、国の補助から地方財政措置に代わった。 PTA会費を平成23年度からの支給対象経費として追加した。 平成25年8月に生活扶助基準の見直しが行われたが、できる限り就学援助制度に影響が出ないようにという国の方針で、平成25年度から基準を据え置いている。 平成28年度末から、新入学用品費の年度前支給について、国・道から検討を求める通知があり、平成30年度入学児童分から、前年度(平成29年度中)に支給する「入学前支給」を実施した。

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業	☐ 統廃合・分割などによる変更	☐ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更
----------------------------------	--	--

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、28年度の内容は空欄としていたことがあります。

			単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円	126,000	63,000	105,000
		地 方 債	円			
		その他(使用料等)	円			
		一 般 財 源	円	13,663,922	15,907,996	16,292,000
		事業費計 (A)	円	13,789,922	15,970,996	16,397,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	3	3
		人工数(業務量)	年間	0.1144	0.1256	
		人件費計 (B)	円	942,607	977,096	
トータルコスト(A)+(B)		円	14,732,529	16,948,092		
活 動 指 標		生徒数	人	659	655	633

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
要保護児童生徒援助費国庫補助金	円	126,000	63,000	105,000
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 就学援助費内訳

項 目	人 数	金 額
学 用 品 費	101 人	2,152,980 円
通 学 用 品 費 等	101 人	370,035 円
体 育 実 技 用 具 費	33 人	382,470 円
新 入 学 学 用 品 費	33 人	1,564,200 円
修 学 旅 行 費	35 人	2,106,541 円
給 食 費	101 人	5,358,000 円
P T A 会 費	95 件	304,750 円
生 徒 会 費	101 人	60,406 円
部 活 動 費	82 人	1,220,709 円
医 療 費	28 人	223,105 円
計		13,743,196 円

2 就学援助認定率(年度末)

学 校 名	生徒数	認定者数	認定率
芽 室 中 学 校	449人	68人	15.14%
上 美 生 中 学 校	23人	4人	17.39%
芽 室 西 中 学 校	183人	28人	15.30%
計	655人	100人	15.27%

3 新入学用品費入学前支給

学 校 名	支給人数	金 額
芽 室 中 学 校	32人	1,516,800 円
上 美 生 中 学 校	3人	142,200 円
芽 室 西 中 学 校	12人	568,800 円
計	47人	2,227,800 円

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
9 教育費	3 中学校費	1 学校管理費	210241	学校健康診断実施事業(中学校)

事務事業名	学校健康診断実施事業(中学校)	事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	不明	年度から 年度まで
-------	-----------------	---------	--------	--------------	----	--------------

(1) 事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 学校健診(内科検診、結核検診、歯科検診、尿検査、心臓検診等)を実施する。 また、町単独の事業として生活習慣病検査(血液検査)を中学校1年生の児童を対象に実施する。 教職員健康診断を実施する。
2.対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など) 中学校の生徒 教職員数(中学校)
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 身体の変異の早期発見と適切な指導を行う。

(2) 事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 学校教育法及び学校保健安全法による
2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測 (どう変わったか、どうなるか) 学校保健法(現在の学校保健法)が定められた時代(昭和30年代)には医療機関も少なく、医療費助成もあまりなかったことから、各家庭にとって学校での健康診断は病気の発見など大きな役割を果たしていた。 現在は、当時と比べて医療機関も増え、幼児の医療費軽減措置もあり各家庭で就学前に既に受診・治療をしている場合が多くなっているため、学校での健診の果たす役割は病気の未然防止などの意味合いが強くなってきている。

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業	☐ 統廃合・分割などによる変更	☐ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更
----------------------------------	--	--

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、28年度の内容は空欄としていたことがあります。

		単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円		
		地 方 債	円		
		その他(使用料等)	円		
		一 般 財 源	円	5,723,366	5,688,934
		事業費計 (A)	円	5,723,366	5,688,934
	人件費	正職員従事人数	人	3	3
		人工数(業務量)	年間	0.1874	0.1603
		人件費計 (B)	円	1,544,096	1,247,309
	トータルコスト(A)+(B)		円	7,267,462	6,936,243
活動指標	各種健康診断受診者延人数(生徒)		人	2,380	2,258
	各種健康診断受診者数(教職員)		人	61	63

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 主な施策の成果

(1) 生活習慣病検査

530,665円

社会環境や生活様式の変化に伴って、今まで成人病と呼ばれていた生活習慣病の傾向が子どもたちに増加していると言われており、生活習慣病の予防のためには、子どもの頃からの適切な健康習慣を身につけることが望まれている。

教育委員会では、将来を担う生徒が、生涯にわたる健康づくりを積極的に進めるために、保護者の同意を得て生活習慣病検査を実施している。

・生徒1人当たり 1,468円(血液成分分析業務委託料) 1,070円(医師による診断委託料)

・看護師1人当たり 5,184円(採血業務委託料)

・朝食としておにぎり及びお茶を提供

対象 中学1年生 198人 受診者 139人(受診率 70.2%) 要指導・要治療者 13人(9.4%)

検査の結果、要指導及び要治療の結果が出た生徒について、子育て支援課の保健師・栄養士による『結果説明会』を実施し、健康・栄養相談などの事後指導を実施。

(2) 尿検査

91,541円

・生徒1人当たり 130円(税抜)

受診人数 全学年 652人

(3) 心臓検診

238,464円

・生徒1人当たり 1,200円(税抜)

受診人数 1年生及び昨年度欠席者 184人

(4) 歯科検診

806,400円

・生徒1人当たり 1,260円

受診人数 全学年 640人

(5) 内科健康診断

977,360円

・生徒1人当たり 1,520円

受診人数 全学年 643人

(6) 再検査(心臓検診)

10,370円(4人)

(7) 学校医委嘱

・学校医 2人 学校歯科医 3人

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
9 教育費	3 中学校費	1 学校管理費	210242	教材・教具整備事業(中学校)

事務事業名	教材・教具整備事業(中学校)	事務事業 の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	不明	年度から 年度まで
-------	----------------	-------------	--------	--------------	----	--------------

(1) 事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 中学校3校の教育課程に係る備品、消耗品及び図書等の購入・整備を行う。
2.対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など) 中学校3校の生徒と教職員
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 授業の実施状況に合わせた教材・教具を整備することにより、効率的な授業の実施等、学校教育の充実を図る。

(2) 事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 学校教育法第5条により、学校の設置者は、その設置する学校を管理し、経費を負担することとされているため、公立中学校の設置者である町が事業を行っている。
2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測 (どう変わったか、どうなるか) 平成32年度から全面実施される新学習指導要領の内容を踏まえて、必要な教材を計画的に整備していくことが求められる。

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業	☐ 統廃合・分割などによる変更	☐ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更
----------------------------------	--	--

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、28年度の内容は空欄としていたことがあります。

		単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円	1,706	
		地 方 債	円		
		その他(使用料等)	円	350,000	515,000
		一 般 財 源	円	24,967,807	11,498,000
		事業費計 (A)	円	25,319,513	12,013,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	3
		人工数(業務量)	年間	0.2180	0.2185
		人件費計 (B)	円	1,796,227	1,699,835
	トータルコスト(A)+(B)		円	27,115,740	20,395,491
活動指標	購入額		円	25,319,513	18,695,656

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
寄附金管理基金繰入金	円	350,000	1,300,000	515,000
災害救助費道委託金	円	1,706		
	円			
	円			
	円			
	円			

事 務 事 業 の 成 果 に 関 す る 説 明

1 主な施策の成果

- (1) 情報教育推進のためのパソコン設置 8,898,467 円
 国の基準を満たすための教育用コンピュータ導入
 ・平成25年度 更新導入 (5,988,487 円)
 ～北海道市町村備荒資金組合を利用し、平成29年度までの5年払い
 芽室中学校 パソコン 80 台 プリンタ 5 台
 ・平成27年度 更新導入 (2,909,980 円)
 ～北海道市町村備荒資金組合を利用し、平成31年度までの5年払い
 上美生中学校 パソコン 29 台 プリンタ 5 台

(2) 教材備品の整備 3,182,180 円

項 目	金 額	購 入 物 品
教育課程教材備品	1,821,380 円	直線縫い電子ミシン、デジタルカメラほか
吹奏楽備品	1,360,800 円	チューバ、バリトンサックス

(3) 学校図書館の状況

学校名	H28年度末冊数 A	購入・寄贈 B	廃棄 C	H29年度末冊数 D=A+B-C	図書標準達成率 D/E	図書標準冊数 E
芽室中学校	15,678	361	373	15,666	119.4%	13,120
上美生中学校	6,819	92	533	6,378	117.2%	5,440
芽室西中学校	10,738	171	182	10,727	111.7%	9,600
合 計	33,235	624	1,088	32,771	116.4%	28,160

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
9 教育費	4 幼稚園費	1 幼稚園費	210243	私立幼稚園運営支援事業

事務事業名	私立幼稚園運営支援事業	事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 45 年度から 平成 年度まで
-------	-------------	---------	--------	--------------	-----------------------

(1) 事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 町内の幼稚園からの申請により、運営費の確認を行い、補助金額を決定・支出する。
2.対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など) 町内の幼稚園
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) きめ細かな幼児教育の実施を図る。

(2) 事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 幼児教育の振興を図るため。
2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測 (どう変わったか、どうなるか) LDやADHDなど軽度発達障害の子が増えてきていることから、それらの子に対応する教員の人件費等に対して補助を行っている。 芽室幼稚園を運営する法人は、平成27年度に大きく方針転換した。 平成29年度に子ども・子育て支援新制度に移行し、平成29年度中に園舎を建替え、平成30年度に認定こども園として運営開始した。

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業	☐ 統廃合・分割などによる変更	☐ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更
----------------------------------	--	--

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、28年度の内容は空欄としていたことがあります。

		単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円	197,661,811	
		地 方 債	円		
		その他(使用料等)	円	1,000,000	
		一 般 財 源	円	14,059,600	117,971,776
		事業費計 (A)	円	14,059,600	316,633,587
	人件費	正職員従事人数	人	4	4
		人工数(業務量)	年間	0.0823	0.2470
		人件費計 (B)	円	678,117	1,921,553
	トータルコスト(A)+(B)		円	14,737,717	318,555,140
活 動 指 標	補助金額		円	14,059,600	316,892,210

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
幼児教育給付費国庫負担金	円		17,473,644	
幼児教育給付費道負担金	円		20,114,167	
一時預かり事業国庫補助金	円		1,288,000	
認定こども園施設整備交付金	円		96,283,000	
保育所等整備交付金	円		61,850,000	
一時預かり事業道補助金	円		653,000	
寄附金管理基金繰入金	円		1,000,000	
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 一時預かり事業(幼稚園型)実施状況

1号認定保護者の短時間労働や傷病等、その他の理由による一時的な保育の需要に対し、一時預かり事業を実施した。

実施期間 : 平成29年4月1日から平成30年3月31日
 保育時間 : 7時30分～18時30分
 対象児童 : 芽室幼稚園に入園している1号認定児童
 利用人数 : 述べ12,448人(実人数134人)
 実施場所 : 芽室幼稚園

補助額 1,961,000円

2 芽室幼稚園運営費補助金算出内訳

助成項目	助成基準	補助金		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度
教員人件費	10%以内	3,386,176	3,457,000	
教材費	40%以内	520,000	520,000	
研修・研究費	30%以内	390,000	390,000	
特別支援担当教諭人件費	道補助経費除く 2/3以内		725,700	
特別支援担当教諭人件費 (道補助対象外職員)	2/3以内	9,317,000	8,966,900	4,063,777
合 計		13,613,176	14,059,600	4,063,777

※芽室幼稚園は平成29年度から「子ども子育て新制度」へ移行したことにより特別支援教諭人件費(道補助対象外職員)のみの補助となった。

3 認定こども園芽室幼稚園施設整備補助金(延面積:旧園舎1,581㎡→新園舎1,793㎡)

幼稚園部分(定員125人) 149,774,000 円
 保育所部分(定員75人) 92,775,000 円
 合計 242,549,000 円

款		項		目		事業番号	決算書上の事業名
9	教育費	4	幼稚園費	1	幼稚園費	210244	私立幼稚園保育料支援事業

事務事業名	私立幼稚園保育料支援事業	事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	不明	年度から 年度まで
-------	--------------	---------	--------	--------------	----	--------------

(1) 事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 幼稚園に在園する園児(満3歳～5歳児)の保育料を減免する。 幼稚園に対し減免金額を年3回に分けて支払う。 ただし、子ども・子育て支援新制度に移行した幼稚園は対象外となる。
2.対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など) 対象となる幼稚園に通園している園児の保護者
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 保護者の経済的負担を軽減し、幼稚園教育の充実及び安心して子育てができる環境を創る。

(2) 事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 保護者の経済的負担を軽減するため。
2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測 (どう変わったか、どうなるか) 一部助成金額が変更になる部分もあるが、制度自体は変わらない。 平成29年度から芽室幼稚園が子ども・子育て支援新制度に移行したため、本制度の対象外となった。

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業	☐ 統廃合・分割などによる変更	☐ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更
----------------------------------	--	--

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、28年度の内容は空欄としていたことがあります。

			単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円	7,829,000	1,244,000	989,000
		地 方 債	円			
		その他(使用料等)	円			
		一 般 財 源	円	18,060,540	2,642,620	3,256,000
		事業費計 (A)	円	25,889,540	3,886,620	4,245,000
	人件費	正職員従事人数	人	4	4	4
		人工数(業務量)	年間	0.0870	0.0328	
		人件費計 (B)	円	7,16,843	255,170	
	トータルコスト(A)+(B)		円	26,606,383	4,141,790	
活 動 指 標		対象となる幼稚園数	校	3	4	4

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
私立幼稚園就園奨励費国庫補助金	円	7,829,000	1,244,000	989,000
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 主な施策の成果

芽室町民の幼児を私立幼稚園に通園させている保護者に対し、下記区分により保育料を援助した。

※ 表中の人数には、年度途中に入園(転入含む)した園児を含む。

※ 途中入退園(転入・出含む)により、保育料が在園期間に応じて支払われている場合の補助額は減額して適用。

第1子

第1	区 分	年齢区分	年補助限度額(円)	人員	補助交付額(円)
	生活保護世帯	満3歳児	308,000		
		3歳児			
		4歳児			
		5歳児			
	町民税非課税世帯 及び所得割非課税世帯 (ひとり親世帯等除く)	満3歳児	272,000		
		3歳児			
		4歳児			
		5歳児			
	町民税非課税世帯 及び所得割非課税世帯 (ひとり親世帯等)	満3歳児	308,000		
		3歳児			
		4歳児			
		5歳児			
	町民税所得割 34,500円+(16歳未満の扶養親族の数× 21,300円)+(16歳以上19歳未満の扶養親 族の数×11,100円)以下の世帯 (ひとり親世帯等除く)	満3歳児	139,200		278,400
		3歳児		1	
		4歳児			
		5歳児		1	
	町民税所得割 34,500円+(16歳未満の扶養親族の数× 21,300円)+(16歳以上19歳未満の扶養親 族の数×11,100円)以下の世帯 (ひとり親世帯等)	満3歳児	272,000		
		3歳児			
		4歳児			
		5歳児			
	町民税所得割 171,600円+(16歳未満の扶養親族の数× 19,800円)+(16歳以上19歳未満の扶養親 族の数×7,200円)以下の世帯	満3歳児	62,200	1	541,100
		3歳児		1	
		4歳児		1	
		5歳児		6	
	計			11	819,500

事務事業の成果に関する説明

第2子

区 分	年齢区分	年補助限度額(円)	人員	補助交付額(円)
生活保護世帯	満3歳児	308,000		
	3歳児			
	4歳児			
	5歳児			
町民税非課税世帯 及び所得割非課税世帯 (ひとり親世帯等除く)	満3歳児	308,000		
	3歳児			
	4歳児			
	5歳児			
町民税非課税世帯 及び所得割非課税世帯 (ひとり親世帯等)	満3歳児	308,000		
	3歳児			
	4歳児			
	5歳児			
町民税所得割 34,500円＋(16歳未満の扶養親族の数× 21,300円)＋(16歳以上19歳未満の扶養親 族の数×11,100円)以下の世帯 (ひとり親世帯等除く)	満3歳児	223,000		446,000
	3歳児		1	
	4歳児			
	5歳児		1	
町民税所得割 34,500円＋(16歳未満の扶養親族の数× 21,300円)＋(16歳以上19歳未満の扶養親 族の数×11,100円)以下の世帯 (ひとり親世帯等)	満3歳児	308,000		
	3歳児			
	4歳児			
	5歳児			
町民税所得割 171,600円＋(16歳未満の扶養親族の数× 19,800円)＋(16歳以上19歳未満の扶養親 族の数×7,200円)以下の世帯	満3歳児	185,000		1,270,300
	3歳児		1	
	4歳児		5	
	5歳児		1	
上記区分以外の世帯	満3歳児	154,000	1	698,100
	3歳児			
	4歳児		3	
	5歳児		1	
計			14	2,414,400

第3子以降

区 分	年齢区分	年補助限度額(円)	人員	補助交付額(円)
生活保護世帯	満3歳児	308,000		
	3歳児			
	4歳児			
	5歳児			
町民税非課税世帯 及び所得割非課税世帯 (ひとり親世帯等除く)	満3歳児	308,000		
	3歳児			
	4歳児			
	5歳児			
町民税非課税世帯 及び所得割非課税世帯 (ひとり親世帯等)	満3歳児	308,000		
	3歳児			
	4歳児			
	5歳児			
町民税所得割 34,500円＋(16歳未満の扶養親族の数× 21,300円)＋(16歳以上19歳未満の扶養親 族の数×11,100円)以下の世帯 (ひとり親世帯等除く)	満3歳児	308,000		164,000
	3歳児			
	4歳児			
	5歳児			
町民税所得割 34,500円＋(16歳未満の扶養親族の数× 21,300円)＋(16歳以上19歳未満の扶養親 族の数×11,100円)以下の世帯 (ひとり親世帯等)	満3歳児	308,000		246,360
	3歳児			
	4歳児			
	5歳児			
町民税所得割 171,600円＋(16歳未満の扶養親族の数× 19,800円)＋(16歳以上19歳未満の扶養親 族の数×7,200円)以下の世帯	満3歳児	308,000		
	3歳児			
	4歳児			
	5歳児			
上記区分以外の世帯	満3歳児	308,000	1	242,360
	3歳児			
	4歳児			
	5歳児			
計			3	652,720

合計

3,886,620

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
9 教育費	5 社会教育費	1 社会教育総務費	220103	少年教育活動運営事業

事務事業名	少年教育活動運営事業	事務事業 の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	不明	年度から 年度まで
-------	------------	-------------	--------	--------------	----	--------------

(1) 事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 少年少女国内研修事業(友好都市訪問事業)、西部十勝野外活動体験研修事業「クマゲラの村キッズキャンプ」、ジュニアリーダーコース道東派遣、フレンドリーコンサート、通学合宿「めむろ塾」、子どもわんぱくキャンプ、メモロ太鼓保存会子どもの部活動報償、寺子屋めむろ夏・冬、奈井江町児童生徒との標語作品交流
2.対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など) 芽室町内在住の児童・生徒
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) ・異なる年齢や地域間の交流を通じてリーダーを育成する。 ・親子間の信頼関係を築く。

(2) 事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 様々な体験活動をとおして、子どもたちの豊かで健やかな心を育むため。
2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測 (どう変わったか、どうなるか) ・集団生活をとおして形成される協調性や自然体験の中での経験が、子どもたちの発達段階ごとの成長に影響を持つと考えられることから、その重要性が求められる。 ・事業への参加希望者が多く、定員を超してしまい、参加者を制限している状況である。

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業	☐ 統廃合・分割などによる変更	☐ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更
----------------------------------	--	--

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、28年度の内容は空欄としていたことがあります。

		単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円		
		地 方 債	円		
		その他(使用料等)	円	468,144	709,000
		一 般 財 源	円	1,730,026	2,571,000
		事業費計 (A)	円	2,198,170	3,280,000
	人件費	正職員従事人数	人	4	4
		人工数(業務量)	年間	0.4269	0.6286
		人件費計 (B)	円	3,517,473	4,890,235
	トータルコスト(A)+(B)		円	5,715,643	6,957,224
活 動 指 標	事業数		回	9	9

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
少年教育事業個人負担金	円	468,144	444,580	709,000
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1. 少年少女国内研修 1,286,104円／参加者負担金 312,280円
 - 1)派遣:7月25日～28日 3泊4日 参加者:小学5・6年生 10人
岐阜県揖斐川町ほか
 - 2)揖斐川町研修生の受入:8月18日～22日 3泊4日 受入人数:12人
町内でホームステイ、芽室小学校との交流ほか
2. 寺子屋めむろ 55,000円
小学生の長期休業中の学習習慣の習得、芽室町発祥のゲートボールの体験
 - 1)夏:7月25日～28日、31日 10:00～11:45 参加者:小学3～6年生 66人
場所:中央公民館、健康プラザ(27日のみ)
 - 2)冬:12月25日～29日 10:00～11:45 参加者:小学3～6年生 84人
場所:中央公民館、健康プラザ(29日のみ)
3. わんぱくキャンプ 106,528円／参加者負担金 19,400円
小学生(1～4年生)の野外体験の提供、ジュニアリーダー育成のためのキャンプの実施
8月3～4日 1泊2日 参加者:小学1～4年生 29人、5・6年生 12人
場所:集団研修施設かつこう
4. フレンドリーコンサート 163,528円
1月27日開催 出演者:町内小・中・高校6校吹奏楽部員 151人、町内在住・在勤の一般 3人(高校生含む)
入場者数:約350人
5. 青少年の体験活動推進事業「ジュニアリーダーコース」(道教委等主催)の参加 5,400円
11月4日～5日 1泊2日 参加者:管内の中高生32人(うち芽室西中2人)
場所:道立青少年体験活動支援施設ネイパル足寄
6. 通学合宿めむろ塾 117,361円／参加者負担金 20,400円
小学生に基本的な生活習慣を身に付けてもらうことを目的に、共同生活を実施
9月24日～29日 5泊6日 参加者:小学4～6年生 12人
場所:中央公民館
7. 西部十勝野外活動体験研修事業 272,146円／参加者負担金 92,500円
異年齢団体での野外体験活動を通して、挑戦・発見する心や友情を学ぶとともにリーダーとしての資質向上を図る。
事前研修(リーダー研修) 3月17日～18日(集団研修施設かつこう)
春のクマゲラ 3月24日～26日 2泊3日 参加者:43人(うち芽室町24人)
場所:国立日高青少年自然の家
8. メムオロ太鼓保存会 10,000円
郷土芸能メムオロ太鼓保存会の活動を支援
少年の部会員数:18人
9. 「子どもの権利条例」制定町との交流
芽室町・奈井江町児童生徒標語作品の双方での展示
芽室町での作品展示:1月11日～31日

(社会教育課 社会教育係)						
款	項	目	事業番号	決算書上の事業名		
9	教育費	5	社会教育費	1	社会教育総務費	220141 放課後子どもサポート運営事業

事務事業名	放課後子どもサポート運営事業	事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	平成 21 年度から 年度まで
-------	----------------	---------	--------	--------------	--------------------

(1) 事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 放課後の時間に子どもたちに勉強・スポーツ・創作活動などの学びの場を提供する。
2.対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など) 芽室南小学校、芽室西小学校、芽室小学校児童数
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) ・家庭学習習慣を定着させるきっかけを提供する。 ・楽しく学んでもらうことで、自ら学習する意欲を引き出す。 ・体を動かすこと・体験活動の楽しさを感じてもらう。

(2) 事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 みなみっこ広場:平成21年～29年度まで南小校区の児童が午後4時台のスクールバス乗車までの時間を安全に過ごすための場所として「みなみっ子広場」を開設。 子ども楽習塾・体験塾:家庭学習習慣の定着と体験活動による創造性の醸成を目的として開始。
2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測 (どう変わったか、どうなるか) 平成30年度の南小区子どもセンターの開設に伴い、放課後子どもサポート事業「みなみっ子広場」は平成29年度で終了。 30年度からは子ども楽習塾及び体験塾を芽小区・西小区・南小区子どもセンターの3カ所で実施予定。 子ども楽習塾については、参加した時は一生懸命勉強に取り組む姿が見られるものの、開催回数も少ないため家庭学習習慣の定着までには達していないと思われる。

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業	☐ 統廃合・分割などによる変更	☐ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更
----------------------------------	--	--

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、28年度の内容は空欄としていたことがあります。

			単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地 方 債	円			
		その他(使用料等)	円	72,000	59,000	
		一 般 財 源	円	1,802,701	1,883,316	233,000
		事業費計 (A)	円	1,874,701	1,942,316	233,000
	人件費	正職員従事人数	人	4	4	4
		人工数(業務量)	年間	0.1340	0.1609	
		人件費計 (B)	円	1,104,103	1,251,732	
トータルコスト(A)+(B)		円	2,978,804	3,194,048		
活 動 指 標		子ども楽習塾・体験塾(南小区)参加者数	人	-	-	59
		子ども楽習塾・体験塾(西小区)参加者数	人	92	185	185
		子ども楽習塾・体験塾(芽小区)参加者数	人	161	217	217

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
放課後子どもサポート事業個人負担金	円	72,000	59,000	
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

1. 放課後子どもサポート事業「みなみっ子広場」

平成21年度より芽室南小学校に通う児童を対象に開設。

※平成30年度からは「みなみっこ児童館」がオープンするため、事業は平成29年度で終了。

(1)開設期間 平成29年4月11日～11月30日

(2)開設日数 139日間

(3)参加状況

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
登録人数	15 人	16 人	15 人	10 人	1 人	2 人	59 人
利用総人数	1,229 人	848 人	286 人	42 人	0人	45 人	2,450 人
平均利用人数	8.84 人	6.10 人	2.06 人	0.30 人	-	0.32 人	17.62 人

※最大利用人数は38人、最低利用人数は5人。

(4)主な活動内容

室内 読み聞かせ・工作・折り紙・お絵かき・ブロック遊び・大縄跳び・宿題・陶芸
屋外 竹馬・ブランコ・サッカー・野球・自然散策・砂場遊び

2. 子ども楽習塾「あいりす広場」・「みらい広場」

西小区では、前身の「めむろ西子どもクラブ」を平成25年度から開設。平成28年度から名称を「子ども楽習塾みらい広場」に変更して実施。芽小区では、子どもセンターの新設を機に、平成28年度から「子ども楽習塾あいりす広場」を実施。

家庭学習習慣の定着を目指し、宿題やプリント学習に取り組んでもらった。

◎あいりす広場

(1)開設日時

平成29年10月17日、24日、11月7日、14日、21日、28日、平成30年1月23日、30日、2月13日、20日、27日
(いずれも火曜日)15時40分～16時40分

(2)参加者数

延べ153人、平均12.75人
学習支援ボランティア 毎回0～2名参加

◎みらい広場

(1)開設日時

平成29年10月16日、23日、30日、11月13日、20日、平成30年1月22日、29日、2月5日、19日、26日、3月5日
15時20分～16時20分

(2)参加者数

延べ186人、平均15.5人
学習支援ボランティア 毎回0～2名参加

3. 子ども体験塾「子ども体験遊びリンピック」

体を動かすこと・体験活動の楽しさを感じてもらうことを目的として室内レクレーションを実施。

国立青少年教育振興機構「体験の風をおこそう推進月間」事業「子ども体験遊びリンピック」に参加。

◎あいりす編

(1)開催日時

平成29年10月31日(火) 15時40分～16時40分

(2)参加者数 32人

(3)内容

ジャンケン列車、しっぽ取り鬼ごっこ、ふわふわ風船リレー

◎みらい編

(1)開催日時

平成29年10月30日(月) 10時50分～11時50分

(2)参加者数 31人

(3)内容

ジャンケン列車、しっぽ取り鬼ごっこ、ふわふわ風船リレー

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
9 教育費	5 社会教育費	2 公民館費	220202	公民館施設維持管理事業

事務事業名	公民館施設維持管理事業	事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 56 年度から 年度まで
-------	-------------	---------	--------	--------------	--------------------

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要)

住民の様々な生涯学習の活動や発表の場の提供のため、施設の維持管理を行う。

2. 対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など)
町民

3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)

町民の生涯学習に対する要望に応えるべく、施設を維持管理する。

(2) 事務事業の環境変化

1. この事務事業を開始した背景

町民の学習拠点として中央公民館が開館したため。

2. 事務事業を取り巻く状況と今後の予測
(どう変わったか、どうなるか)

町民の学習拠点の一つとして継続して利用されており、平成25年度の改修工事により快適な環境が整っている。
一方で、改修工事を行っていない部分については徐々に劣化が進んでおり、計画的な修繕を検討する必要がある。

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業 ☐ 統廃合・分割などによる変更 ☐ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、28年度の内容は空欄としていたことがあります。

			単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地 方 債	円			
		その他(使用料等)	円	2,687,477	2,835,798	6,846,000
		一 般 財 源	円	39,981,543	38,590,876	74,355,000
		事業費計 (A)	円	42,669,020	41,426,674	81,201,000
	人件費	正職員従事人数	人	4	4	4
		人工数(業務量)	年間	0.1190	0.1128	
		人件費計 (B)	円	980,509	877,535	
トータルコスト(A)+(B)		円	43,649,529	42,304,209		
活 動 指 標		開館日数	日	352	352	352

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
公民館使用料	円	2,291,492	2,392,410	2,368,000
公民館自動販売機使用料	円	86,505	97,808	87,000
公民館講座受講料	円	305,500	343,500	375,000
私用電話料(公民館費)	円	3,980	2,080	1,000
寄附金管理基金繰入金	円			4,015,000
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 芽室町中央公民館の維持管理及び運営

(1) 指定管理の状況

- ① 3カ年(平成29年4月1日～平成32年3月31日)の基本管理協定に基づき管理業務を委託
- ② 平成29年度指定管理年度協定書の締結(年額委託料 40,377,000円)

(2) 指定管理事業者による中央公民館の維持管理

- ① 受付、警備業務
- ② 日常清掃及び特別清掃業務
- ③ エレベーター保守点検、電気保守点検、舞台照明・音響設備保守点検、大ホール舞台吊り物設備保守点検等の実施

(3) 指定管理事業者による中央公民館の運営

① 公民館講座の開設

大人向け講座・・・企画29講座 実施26講座(実参加者数306人 延べ参加者数1,237人)
 韓国語、マナー、パソコン、メモオロ太鼓、アロマ、ギター、陶芸、整理収納、骨格スタイル分析 等
 児童・生徒向け講座・・・企画10講座 実施9講座(実・述べ参加者数ともに174人)
 アロマクラフト、篆刻、料理(ケーキ、恵方巻き、パフェ等)、陶芸 等

② その他の事業

- ・管内他施設で実施されるコンサートのチケット販売
- ・利用団体との意見交換、アンケート調査の実施
- ・利用団体に対する舞台演出見学会の実施
- ・指定管理者自主企画(映画上映会、スタインウェイ体験会、ゴスペルライブ等)の実施
- ・利用者サービス向上のため、公衆無線LAN回線(Wi-Fi)を継続(受託業者の自主的な取り組み)

(4) 利用状況

区分	利用延件数	利用延人数	延べ日数
展示ホール	261	19,528	254
大ホール	260	20,876	217
リハーサル室	733	8,706	316
講堂	250	12,388	204
研修室	296	4,861	214
図書資料室	347	5,389	245
二階和室	187	2,814	163
美術工芸室	254	1,871	191
三階和室	232	3,283	178
視聴覚室	153	3,507	135
調理実習室	117	1,685	108
合計	3,090	84,908	

年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
利用延件数	3,198	2,100	2,741	2,913	3,012	3,090
利用延人数	88,508	68,122	81,893	91,883	81,323	84,908

(5) その他(主な指定管理外経費)

① 需用費

- ・1階女子トイレ手洗混合栓・止水栓取替修繕 100,440円
- ・No. 2ボイラー漏水修繕 285,120円
- ・和室壁穴修繕 11,880円(社会教育事業での破損のため指定管理外経費で修繕)
- ・敷地内街灯修繕 356,400円

② 備品購入費

- ・調理室用収納棚 31,320円

款		項		目		事業番号	決算書上の事業名
9	教育費	5	社会教育費	3	図書館費	220302	図書・視聴覚資料の貸出・保存事業

事務事業名	図書・視聴覚資料の貸出・保存事業	事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	平成 元 年度から 年度まで
-------	------------------	---------	--------	--------------	-------------------

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要)

利用者への資料提供(閲覧・貸出)
資料の取得・管理・保存
延滞者への返却督促
蔵書点検

2. 対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など)
図書館利用登録者、資料、町民

3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)
適切に資料を管理し、利用者へ提供する。

(2) 事務事業の環境変化

1. この事務事業を開始した背景
平成元年度図書館開館から

2. 事務事業を取り巻く状況と今後の予測
(どう変わったか、どうなるか)

臨時職員雇用形態の変更、出版不況、情報技術高度化への対応、高齢者対象サービス、など。

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業 ☐ 統廃合・分割などによる変更 ☐ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、28年度の内容は空欄としていたことがあります。

			単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地 方 債	円			
		その他(使用料等)	円	1,703,182	1,936,113	1,813,000
		一 般 財 源	円	23,936,006	24,533,528	24,985,000
		事業費計 (A)	円	25,639,188	26,469,641	26,798,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2
		人工数(業務量)	年間	0.5967	0.4811	
		人件費計 (B)	円	4,916,553	3,742,749	
トータルコスト(A)+(B)		円	30,555,741	30,212,390		
活 動 指 標		開館日数	日	291	291	291

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
寄附金管理基金繰入金	円	10,000	200,000	50,000
図書館資料紛失等弁償金	円	54,559	46,548	1,000
臨職労働保険個人負担金(図書館費)	円	1,638,623	1,689,565	1,762,000
	円			
	円			
	円			

事 務 事 業 の 成 果 に 関 す る 説 明

- 1 図書購入費 7,529,310円
 (1) 一般書 3,115冊(3,046冊)
 (2) 児童書 1,405冊(1,513冊)
 計 4,520冊(4,559冊)
- 2 視聴覚資料購入費 1,719,082円
 (1) CD,DVD 205点(214点)
- 3 図書資料費 948,587円
 (1) 雑誌 69誌 819冊(806冊)
 (2) 新聞 8紙
- 4 利用登録者数 13,713人(13,298人) ※ 団体登録、相互貸借図書館を含む。

5 図書館貸出利用者数内訳

区分	図書館資料の利用者数								事業	合計	
	幼児	小学生	中学生	一般				団体			小計
	0～5歳	6～12歳	13～15歳	16～22歳	23～39歳	40～59歳	60歳以上				
H29	1,449	3,637	1,085	1,162	6,370	11,687	11,651	371	37,412	10,548	47,960
H28	1,507	3,881	1,289	1,568	6,929	12,272	11,601	385	39,432	12,996	52,428

6 図書・雑誌資料別貸出状況

区分	貸出冊数	
	平成29年度	平成28年度
一般書	84,847	87,986
児童書	57,515	59,066
雑誌	12,950	12,834
合計	155,312	159,886

7 視聴覚資料貸出・館内視聴状況

区分	平成29年度	平成29年度 館外(再掲)	平成28年度	平成28年度 館外(再掲)
カセット	1	1	1	1
CD	2,524	2,451	2,434	2,334
ビデオ	614	45	821	55
LD	372		407	
DVD	5,432	4,755	5,949	5,110
合計	8,943	7,252	9,612	7,500

8 蔵書点検の実施

- (1) 実施期間 平成29年6月5日～9日
 (2) 点検資料数 122,960点
 (3) 不明資料数 92点

9 未返却などの督促

- (1) 対象者数 81人
 (2) 対象冊数 327冊

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
9 教育費	5 社会教育費	3 図書館費	220306	読書活動推進事業

事務事業名	読書活動推進事業	事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 49 年度から 年度まで
-------	----------	---------	--------	--------------	--------------------

(1) 事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) ・講座の開催(大人、子ども向け) ・ブックスタート事業 ・読書感想文コンクール ・団体貸出 ・展示の開催 ・移動文庫 ・すすく広場での貸出、読み聞かせ
2.対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など) 利用者及び町民
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) ・新規登録者の増加 ・乳幼児期から絵本に親しむ機会づくり ・読書を通じた子育て、人づくり ・学校図書館の環境整備・活性化

(2) 事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 児童・生徒が読書に親しむことを目的に、昭和49年に読書感想文コンクールを開始した。また、乳幼児期から本に親しむ機会づくりとして、保健福祉課(平成20年度からは、子育て支援課)と連携しブックスタート事業を開始した。
2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測 (どう変わったか、どうなるか) 利用者数と貸出冊数が減少傾向であり、より魅力のある事業実施や読書に親しむきっかけづくりをしていく必要がある。

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業	☐ 統廃合・分割などによる変更	☐ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更
----------------------------------	--	--

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、28年度の内容は空欄としていたことがあります。

		単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円		
		地 方 債	円		
		その他(使用料等)	円		300,000
		一 般 財 源	円	538,805	529,975
		事業費計 (A)	円	538,805	529,975
	人件費	正職員従事人数	人	2	2
		人工数(業務量)	年間	0.2109	0.2519
		人件費計 (B)	円	1,737,726	1,959,672
	トータルコスト(A)+(B)		円	2,276,531	2,489,647
活 動 指 標	事業の参加者数		人	12,196	9,992
	学校図書館活動支援		回	1	1

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
地域づくりセミナー開催支援金(図書館費)	円			300,000
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

(社会教育課 図書館係)

事 務 事 業 の 成 果 に 関 する 説 明

1 講座の開催

- (1)夏休み子ども教室「フェルト花を作ってフォトフレームに飾ろう」平成29年8月4日開催
参加者 7名
- (2)「新聞はこうして作られる」平成29年8月7日開催
参加者 計9名
- (3)サイエンス講座「ロボットが来た！」平成29年9月2日開催
参加者 12名
- (4)「終活講座」平成29年9月16日開催
参加者 22名

2 第44回芽室町読書感想文コンクール実施

- (1)作品募集期間 平成29年8月1日～平成29年10月31日
- (2)応募総数 777点(小学生272点、中学生500点、高校・一般5点)
- (3)審査委員 20名(学校代表9名、一般11名)
- (4)審査委員会議の開催 第1回(平成29年6月22日)実施要領、審査要領策定
第2回(平成29年10月19日)審査担当決定、審査開始
第3回(平成29年12月18日)入賞者決定(最優秀8点、優秀53点、秀作86点)
- (5)表彰式 平成30年2月15日 最優秀受賞者を表彰
- (6)読書感想文集発行 平成30年2月末入賞者、各学校等に配布

3 ブックススタート事業

- (1)実施目的 赤ちゃんと保護者が絵本を通じてゆっくり心ふれあうひとときを持つきっかけを作るとともに、図書館やお話し会などの紹介、読み聞かせのアドバイスや効果について説明する。家での読み聞かせに利用していただく絵本2冊をプレゼントする。
- (2)実施回数 12回(子育て支援課で行っている10ヵ月健診会場で実施)
- (3)対象者数 115名(10ヵ月児)

4 展示の開催

- (1)目的 閲覧室壁面の小規模展示スペースを団体、個人等の活動の発表の場として開放するとともに、潜在利用者の掘り起こしを行う。また、資料の展示も行い、貸出の促進を図る。毎年3月に実施している「卒業生に贈る言葉展」は、ラウンジにて開催する。
- (2)実施回数 19回(展示コーナー16回、ラウンジ3回)

5 その他読書活動推進事業

- (1)図書のミニ展示、季節展示 図書館職員が各種行事や季節をテーマに設定し、ミニ展示は閲覧室入口右側に会議用テーブルを設置、季節展示は展示コーナーの一角を使用し、お薦めの本の展示・貸出を行う。平成29年9月から議会と連携し一般質問コーナーを開始。計24回実施。
- (2)日曜おはなし会の開催 50回(毎週日曜日) 参加者数 414人(ボランティア含む)
乳幼児を対象に、司書とボランティアが絵本や紙芝居の読み聞かせを行い、読書活動や図書館利用のきっかけ作りにつなげる。
- (3)本の交換市(春と秋の読書週間に実施) 4回開催 参加者数 200名
既に所蔵している等の理由により、資料として図書館に受入できない本を利用者個人が持ち寄る不要本と交換。
- (4)除籍済み資料配布 12回開催(毎月第1日曜日) 参加者数 494人
所蔵切れの雑誌、除籍された図書等を町内利用者に無料配布する。
- (5)祝日映画会 18回開催 参加者数 154人
祝日に上映権付の映画を上映する。

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
9 教育費	5 社会教育費	4 集団研修施設費	220108	集団研修施設「かつこう」維持管理事業

事務事業名	集団研修施設「かつこう」維持管理事業	事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	平成 4 年度から 年度まで
-------	--------------------	---------	--------	--------------	-------------------

(1) 事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 施設の維持管理、小破損修繕、利用団体の管理(宿泊時含む)、敷地内の環境整備
2.対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など) 町内外の学校やサークル等の団体
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 社会教育活動の場を提供

(2) 事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 廃校となった校舎(昭和55年建築、体育館は昭和41年)の再利用を検討した結果、青少年の活動拠点として改修工事を行い、集団研修施設として再生した。
2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測 (どう変わったか、どうなるか) 耐震診断により耐震性の確保(体育館を除く)が判明したことから、施設の長寿命化や更なる有効活用の方法について検討する必要がある。

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業	☐ 統廃合・分割などによる変更	☐ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更
----------------------------------	--	--

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、28年度の内容は空欄としていたことがあります。

		単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円		
		地 方 債	円		
		その他(使用料等)	円	568,850	569,000
		一 般 財 源	円	5,607,430	6,536,000
		事業費計 (A)	円	6,176,280	7,105,000
	人件費	正職員従事人数	人	4	4
		人工数(業務量)	年間	0.1471	0.1378
		人件費計 (B)	円	1,212,041	1,072,024
	トータルコスト(A)+(B)		円	7,388,321	7,722,829
活 動 指 標	開館日数		日	312	306
	維持管理に要した経費		円	6,176,280	7,105,000

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
集団研修施設使用料	円	568,850	578,050	568,000
私用電話料(集団研修施設費)	円			1,000
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 施設維持管理について

(1) 需用費

- ・誘導灯ほか消防設備取替修繕 118,800円
- ・煙突排気口修繕 168,480円

(2) 委託料

- ・清掃委託 403,242円
 - 内訳 第1回 床ワックス・ガラス清掃 219,767円
 - 第2回 床ワックスのみ 183,475円
- ・施設管理委託 3,023,100円
 - 内訳 1日勤務分(304日) 2,613,600円
 - 宿泊勤務分(42日) 409,500円
- ・ボイラー保守点検委託 98,500円
- ・消防設備点検委託 46,548円
 - 内訳 総合点検 26,784円
 - 機器点検 19,764円
- ・体育館遠赤外線放射暖房機保守点検委託 32,400円
- ・アスベスト測定調査分析委託料 98,658円
- ・かっこう敷地内風倒木伐採処理作業委託料 29,160円

(3) 備品購入費

- ・刈払機購入費 55,080円

施設利用状況について

① 過去3カ年利用状況

	施設延べ利用者数			町内団体 利用率	BBQハウス 利用者数	利用団体数
	町内	町外	全体			
H27	2,011	1,993	4,004	50.2%	1,018	165
H28	1,758	1,757	3,515	50.0%	740	68
H29	1,521	1,865	3,386	44.9%	842	78

② 年代別施設利用者数(町内)

	延べ利用者数					全体
	幼児	小学生	中学生	高校生	一般	
H27	218	621	115	0	1,057	2,011
H28	222	453	97	1	985	1,758
H29	213	293	76	18	921	1,521

※BBQハウス利用者を除く

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
9 教育費	5 社会教育費	5 ふるさと歴史館費	220109	ふるさと歴史館維持管理事業

事務事業名	ふるさと歴史館維持管理事業	事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	平成 12 年度から 年度まで
-------	---------------	---------	--------	--------------	--------------------

(1) 事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 施設の維持管理及び来館者の対応、管内の日常清掃と特別清掃(年2回)の発注、来館者数の集計作業、収蔵施設の管理及び資料の現状調査、定期刊行物の発行、田園空間博物館の電子掲示板の管理
2.対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など) 来館者(町内・町外在住者)
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 収蔵資料の適切な保管と活用を行い、郷土の歴史を後世に伝えとともに、来館者に対して郷土の歴史を理解する場を提供する。

(2) 事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 茅室町開町100年を機に町の収蔵資料を展示・保管するとともに、体験学習等の普及活動をとおして町の文化や歴史を後世に伝えることを目的に開始された。
2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測 (どう変わったか、どうなるか) 郷土資料の収集・保管活動を継続していくことで、施設の充実を図ることが望まれる。 まもなく開館20年を迎えることから、展示替えや表示物の点検などが必要となってきた。 故障している水汲み井戸の修繕を行う。

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業	☐ 統廃合・分割などによる変更	☐ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更
----------------------------------	--	--

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、28年度の内容は空欄としていることがあります。

			単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地 方 債	円			
		その他(使用料等)	円	4,957	193,504	203,000
		一 般 財 源	円	14,561,829	18,545,789	5,161,000
		事業費計 (A)	円	14,566,786	18,739,293	5,364,000
	人件費	正職員従事人数	人	4	4	
		人工数(業務量)	年間	0.1046	0.1221	
		人件費計 (B)	円	861,859	949,885	
	トータルコスト(A)+(B)		円	15,428,645	19,689,178	
活 動 指 標	維持管理の費用		円	14,566,786	18,699,082	5,364,000
	開館日数		日	296	306	306

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
臨職労働保険個人負担金(ふるさと歴史館費)	円	4,957	193,504	203,000
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

①賃金

- ・臨時清掃等作業員賃金(1人) 1,253,605円

②修繕費

- ・感知器交換修繕 27,000円
- ・事務室FF式灯油ストーブ操作基盤修繕 8,640円
- ・自動火災報知器受信機予備電池交換 18,036円

③管理委託

- ・清掃委託 63,318円
 - 内訳 第1回 床ワックス・ガラス清掃 44,506円
 - 第2回 床ワックスのみ 18,812円
- ・機械警備委託 259,200円
- ・消防設備点検委託 28,944円
 - 内訳 総合点検 17,172円
 - 機器点検 11,772円
- ・温風ボイラー保守点検委託 91,400円
- ・浄化槽清掃業務委託 59,292円
- ・事業系廃棄物収集運搬委託 118,072円

④工事請負費

- ・屋根防水改修工事 13,770,000円
- 年次計画で屋根の防水工事を実施(平成29年度は中段・下段の屋根)

建設事業等の説明 (単位:円)						
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備考
		国道支出金	起債	その他	一般財源	
ふるさと歴史館屋根防水改修工事 ・中段・下段の屋根の防水改修 ・内部天井塗装 ・外部軒天改修	13,770,000				13,770,000	有限会社熊谷建設 H29.5.29～H29.7.28
合 計	13,770,000				13,770,000	

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
9	教育費	6 保健体育費	2 体育施設費	220424 屋外体育施設維持管理事業

事務事業名	屋外体育施設維持管理事業	事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 49 年度から 年度まで
-------	--------------	---------	--------	--------------	--------------------

(1) 事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 芽室町営野球場、芽室公園運動広場(ソフトボール場1面特設)、芽室町南多目的運動広場、アーチェリー場、芽室南公園運動広場、芽室公園庭球場(6面、うち1面は壁打ち用)、芽室南公園庭球場(ハード3面、クレイ3面)、東工業団地北一公園PG場、芽室南PG場、芽室町サッカー場1面、芽室西運動広場の維持管理を行う。
2.対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など) 町民、スポーツ団体等
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 町民及び各種位スポーツ団体のメンバー等がスポーツ活動を実践することができる。

(2) 事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 町民の健康増進とスポーツ振興のために順次施設を開設した。
2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測 (どう変わったか、どうなるか) 町民の運動志向の高まりとともに、取り組むスポーツも多様化し、より快適で安全な体育施設が設置・整備が望まれてきている。 平成28年度:台風被害により十勝川河川敷運動広場(野球場、サッカー場)を廃止、美生川河川敷PG場を休止。 平成29年度:芽室西運動広場整備ならびに美生川河川敷PG場、町営球場の整備等に係る実施設計委託実施。 平成30年度に町営野球場の大規模改修工事並びに美生川河川敷PG場の災害復旧工事を実施予定。

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業	☐ 統廃合・分割などによる変更	☐ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更
----------------------------------	--	--

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、28年度の内容は空欄としていたことがあります。

		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円		
		地方債	円		
		その他(使用料等)	円	548,165	41,350,000
		一般財源	円	34,793,723	86,447,000
		事業費計(A)	円	35,341,888	127,797,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2
		人工数(業務量)	年間	0.1839	0.2242
		人件費計(B)	円	1,515,257	1,744,178
	トータルコスト(A)+(B)		円	36,857,145	35,886,486
活動指標	施設数	施設	13	11	11
	開場日数	日	198	197	198

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
野球場使用料	円	265,345	237,900	199,000
運動広場使用料	円	119,050	232,950	161,000
庭球場使用料	円	133,850	137,200	153,000
アーチェリー場使用料	円	29,920	35,360	34,000
サッカー場使用料	円		11,000	3,000
日本スポーツ振興センタースポーツ振興くじ助成金	円			40,800,000
	円			

事務事業の成果に関する説明

屋外体育施設の利用状況

1. 芽室公園運動施設 [単位:人]

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	H29計	H28	H27
町営野球場	202	1,585	1,261	913	859	615	200		5,635	4,531	5,656
芽室公園運動広場	362	1,754	1,611	1,497	1,176	1,057	886		8,343	13,024	11,395
芽室公園庭球場	68	344	235	350	391	267	209	45	1,909	2,097	3,368

2. 十勝川河川敷運動施設 [単位:人]

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	H29計	H28	H27
野球場(H29廃止)									-	1,768	2,729
サッカー場(H29廃止)									-	1,178	2,657

* サッカー場については、平成25年度(H25.10.31完了)に造成

3. 南公園運動施設 [単位:人]

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	H29計	H28	H27
南公園運動広場	60		620	175	1,500	1,148			3,503	4,169	4,169
南公園庭球場	78	705	584	853	946	788	242	10	4,206	3,062	3,062

4. 南多目的運動施設 [単位:人]

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	H29計	H28	H27
アーチェリー場	10	100	112	122	110	120	30		604	762	968
ソフトボール場	30	258	490	315	105	75			1,273	806	774

5. サッカー場 [単位:人]

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	H29計	H28	H27
小学生以下			410	866	891	951			3,118	3,384	3,008
中学生			204	280	400	363			1,247	580	558
高校生・一般			108	60	168	156			492		
計			722	1,206	1,459	1,470			4,857	3,964	3,566

6. パークゴルフ場(団体利用の申込み状況)

施設名	H29		H28	
	団体数	利用人数	団体数	利用人数
美生川河川敷(H29休止)	—	—	9	790
東工業団地北一公園	16	851	9	248
南	16	2,933	11	2,519
北	10	1,037	4	906
計	42	4,821	33	4,463

7. 西運動広場(平成29年度より開設) [単位:人]

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	H29計
西運動広場		338	318	85	32				773

屋外体育施設の維持(修繕・工事請負・備品購入)の状況

【修繕】

- ①東工北1パークゴルフ場ティー台修繕 608,472円
 ②芽室西運動広場物置掛鍵修繕 7,000円

【工事請負】

- ①十勝川河川敷運動広場門扉等撤去工事 248,400円
 ②芽室西運動広場物置移設工事 58,320円

【備品購入】

- ①芽室南公園庭球場硬式・軟式テニスネット 各3枚 299,700円
 (KANEYA・K-1207DY、K-1225DY)
 ②芽室西運動広場一般用サッカーゴール／
 ゴールネット 各2基1対 579,960円
 (ZETT・ZG1620、ZN1610)
 ③芽室西運動広場
 サッカーコーナーフラッグポール 6本1組 24,840円
 (EVERNEW・EKE984)
 ④芽室西運動広場簡易水洗トイレ 2基 283,824円
 (エルムトイレ・RZU/KZU)

(社会教育課 スポーツ振興係)

建設事業等の説明						(単位:円)
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備考
		国道支出金	起債	その他	一般財源	
十勝川河川敷運動広場門扉等撤去工事 (十勝川河川敷運動広場の廃止に伴い、施設入口の案内板及び敷地内の町設置電柱の撤去工事)	248,400				248,400	村上建設株式会社 H29.5.23～H29.6.2
芽室西運動広場物置移設工事 (西運動広場で物品庫として使用する物置2棟の移設工事)	58,320				58,320	村上建設株式会社 H29.4.11～H29.5.1
合 計	306,720				306,720	

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
9 教育費	6 保健体育費	3 総合体育館費	220406	総合体育館維持管理事業

事務事業名	総合体育館維持管理事業	事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 53 年度から 年度まで
-------	-------------	---------	--------	--------------	--------------------

(1) 事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 総合体育館(第1競技場、第2競技場、トレーニング室、研修室等)の維持管理を行う。
2.対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など) 町民、スポーツ競技団体等
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 競技スポーツだけではなく、体力向上や健康増進のためのスポーツ実践の場を提供し、町民皆スポーツにつなげる。

(2) 事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 町民の体力向上、健康増進、スポーツの普及のため、町民・関係団体等の要望により昭和53年に開館した。
2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測 (どう変わったか、どうなるか) 経年劣化や耐震性の向上のため、平成24年度に改修工事を実施。施設備品やトレーニング機器などの更新も必要となっており、計画的に実施することとなっている。施設が災害時の避難所に指定されていることから、平成26年度にバイオマス発電設備を設置し、維持経費の削減や災害時の利用に備えている。平成29年度からの指定管理委託更新に伴い、バイオマス発電設備の維持管理業務を指定管理業務に移行。

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業	☐ 統廃合・分割などによる変更	☐ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更
----------------------------------	--	--

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、28年度の内容は空欄としていたことがあります。

		単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円		
		地 方 債	円		
		その他(使用料等)	円	5,561,428	5,677,565
		一 般 財 源	円	49,506,090	57,066,334
		事業費計 (A)	円	55,067,518	62,743,899
	人件費	正職員従事人数	人	2	2
		人工数(業務量)	年間	0.1508	0.1725
		人件費計 (B)	円	1,242,527	1,341,975
	トータルコスト(A)+(B)		円	56,310,045	64,085,874
活 動 指 標	施設数	施設	1	1	1
	開館日数	日	349	348	349

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
総合体育館使用料	円	5,421,207	4,997,328	5,168,000
総合体育館自動販売機等使用料	円	135,461	156,987	128,000
寄附金管理基金繰入金	円	680,000	520,000	
私用電話料(総合体育館管理費)	円	4,760	3,250	4,000
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

芽室町総合体育館の利用状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H27	個人	1,668	1,487	1,521	1,319	1,343	1,418	1,318	1,447	1,731	1,638	1,680	18,476
	団体	5,825	5,757	7,179	6,306	3,716	4,646	6,600	6,331	5,866	4,919	6,282	68,985
	計	7,493	7,244	8,700	7,625	5,059	6,064	7,918	7,778	7,597	6,557	7,962	87,461
H28	個人	1,520	1,198	1,210	1,513	1,451	1,514	1,648	1,739	1,739	1,942	2,065	20,352
	団体	5,327	6,002	6,996	6,244	3,378	3,707	6,620	6,004	5,284	4,599	6,101	65,765
	計	6,847	7,200	8,206	7,757	4,829	5,221	8,268	7,743	7,023	6,541	8,166	86,117
H29	個人	2,242	1,743	1,826	1,664	1,565	1,369	1,587	1,647	1,687	1,983	1,795	21,430
	団体	5,944	4,871	5,618	5,577	4,779	5,987	7,717	8,166	5,981	5,119	5,070	69,619
	計	8,186	6,614	7,444	7,241	6,344	7,356	9,304	9,813	7,668	7,102	6,865	91,049

芽室町総合体育館の競技別利用状況

競技名	H27	H28	H29
バドミントン	21,364	19,868	20,593
卓球	5,524	6,185	5,938
テニス	5,435	5,077	4,208
バレーボール	7,842	8,697	10,311
ミニバレー	9,801	8,045	7,390
バスケットボール	2,204	1,113	2,644
剣道	2,815	2,612	1,957
柔道	1,552	1,699	2,291
空手	3,440	3,141	3,999
テニポン	3,240	3,684	3,698
トレーニング	13,295	13,129	14,385
研修室	656	710	541
その他	10,293	12,157	13,094
計	87,461	86,117	91,049

芽室町総合体育館教室等の開催(指定管理業務)

講座名	教室数	受講者数	延べ人数
レディース(健康)	3	58	246
にこにこ	5	193	830
シニアスポーツ	3	94	361
サーキットエクササイズ	1	20	83
らくらく運動教室	5	383	1,443
スタイリッシュ教室	2	31	96
健康づくり	2	57	238
バランスボールエクササイズ	2	26	143
基礎体力UP	2	25	79
エアロビクス	2	74	200
シニアるるん	2	57	130
ヨガ	5	167	539
ピラティス	3	109	304
ミドルエイジ	1	23	105
ダンベル	2	20	69
町民体力測定	1	7	7
計	41	1,344	4,873

芽室町総合体育館の維持(修繕・工事請負・備品購入)の状況

【修繕】

①自動火災報知設備修繕	1,188,000円
②バスケットゴール修繕(1)	864,000円
③トレッドミル修繕	287,280円
④バスケットゴール修繕(2)	205,200円

【工事請負】

①地下タンク改修工事	5,335,200円
------------	------------

【備品購入】

①卓球台(SANEI・VR-VERIC-W) 2台	560,520円
②柔道用畳(滑り止め付) 52枚	2,095,200円
③会議用折畳机(ライオン・M-3S) 5脚	263,520円

(社会教育課 スポーツ振興係)

建設事業等の説明 (単位：円)						
事業（工事）名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備考
		国道支出金	起債	その他	一般財源	
芽室町総合体育館地下タンク改修工事 （耐用年限を迎える総合体育館地下貯蔵タンクの漏洩防止措置に係る内面ライニング施工工事）	5,335,200				5,335,200	株式会社松山工業 H29.9.4～H29.11.2
合 計	5,335,200				5,335,200	

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
9 教育費	6 保健体育費	4 プール管理費	220409	温水プール維持管理事業

事務事業名	温水プール維持管理事業	事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	平成 2 年度から 年度まで
-------	-------------	---------	--------	--------------	-------------------

(1) 事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 温水プールの維持管理を行う
2.対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など) 町民、スポーツ団体
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 競技スポーツだけではなく、体力向上や健康増進のためのスポーツ実践の場を提供し、町民皆スポーツにつなげる

(2) 事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 町民の体力向上・健康増進、スポーツの普及のため、町民・関係団体等の要望により平成2年に開館した。
2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測 (どう変わったか、どうなるか) 開館当時は季節開館であったが、間もなく通年開館(設備点検を行う3月を除く)となり、一定程度の利用者を確保している。開館以来27年が経過し、施設や設備の老朽化が進んでおり、平成26年度に施設の改修計画に向けた設計委託を実施し、平成27年度に町民からなる検討会議での議論を踏まえて教育委員会としての改修に関する基本方針をまとめた。今後、基本方針に基づき、関係課と連携し、温水プール建替えに係る基本構想案を策定するとともに、事業手法についても検討を行う。

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業	☐ 統廃合・分割などによる変更	☐ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更
----------------------------------	--	--

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、28年度の内容は空欄としていたことがあります。

		単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円		
		地 方 債	円		
		その他(使用料等)	円	3,764,254	3,915,038
		一 般 財 源	円	47,614,146	46,215,605
		事業費計 (A)	円	51,378,400	50,130,643
	人件費	正職員従事人数	人	2	2
		人工数(業務量)	年間	0.1066	0.1210
		人件費計 (B)	円	878,338	941,327
	トータルコスト(A)+(B)		円	52,256,738	51,071,970
活動指標	施設数	施設	1	1	1
	開館日数	日	283	281	283

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
プール使用料	円	3,608,530	3,738,510	3,817,000
プール自動販売機使用料	円	154,364	175,238	147,000
私用電話料(プール管理費)	円	1,360	1,290	1,000
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

茅室町温水プールの利用状況

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H27	個人	1,776	1,932	2,020	3,690	2,783	1,955	1,583	1,513	1,806	1,442	1,790	-	22,290
	団体	1,094	1,353	3,519	4,536	2,914	3,407	1,761	1,285	1,311	1,287	1,138	-	23,605
	計	2,870	3,285	5,539	8,226	5,697	5,362	3,344	2,798	3,117	2,729	2,928		45,895
H28	個人	1,739	2,343	2,155	3,008	3,635	2,188	1,719	1,629	1,593	1,206	1,739	-	22,954
	団体	1,121	1,443	3,785	3,829	2,163	3,246	1,772	1,203	1,194	1,437	1,187	-	22,380
	計	2,860	3,786	5,940	6,837	5,798	5,434	3,491	2,832	2,787	2,643	2,926		45,334
H29	個人	1,868	2,157	2,347	3,452	2,797	2,085	2,091	1,985	1,816	1,713	1,713	-	24,024
	団体	1,229	1,686	3,967	3,835	3,249	2,466	1,479	1,935	1,222	1,597	1,244	-	23,909
	計	3,097	3,843	6,314	7,287	6,046	4,551	3,570	3,920	3,038	3,310	2,957		47,933

水泳教室等(指定管理業務)の開催状況

対象	実施状況	延べ参加者数
こども	10コース／延べ46教室	4,138人
親子	1コース／延べ1教室	20人
大人(スイミング)	13コース／延べ51教室	1,606人
大人(水中運動)	10コース／延べ32教室	1,406人
計		7,170人

H28 6,462人

茅室町温水プールの維持(修繕・備品購入)の状況

【修繕】

①便器洋式化改修修繕	453,600円
②天井ボード張替修繕	159,840円

【備品購入】

①コースロープ等購入費 (25m用 3本／小プール用 1本)	515,592円
②室内ベンチ(スチール製) 2台	64,260円
③粉末消火器 8本	66,528円

款		項		目		事業番号	決算書上の事業名
9	教育費	6	保健体育費	5	健康プラザ管理費	220416	健康プラザ維持管理事業

事務事業名	健康プラザ維持管理事業	事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	平成 8 年度から 年度まで
-------	-------------	---------	--------	--------------	-------------------

(1) 事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 健康プラザ(アリーナ・研修室、資料室等)の維持管理を行う
2.対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など) 町民 スポーツ団体等
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 競技スポーツだけでなく体力向上や健康増進のためのスポーツ実践の場を提供し、町民皆スポーツにつなげる

(2) 事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 町民の体力向上・健康増進、スポーツの普及のため、町民・関係団体等の要望により平成8年に開館した
2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測 (どう変わったか、どうなるか) 通年でコンスタントに利用されており、特に冬期間にはゲートボールやテニス、フットサルだけでなく、野球などの屋外スポーツ競技者の利用もみられる。

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業	☐ 統廃合・分割などによる変更	☐ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更
----------------------------------	--	--

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、28年度の内容は空欄としていたことがあります。

		単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円		
		地 方 債	円		
		その他(使用料等)	円	23,538,269	1,758,784
		一 般 財 源	円	22,744,115	9,737,391
		事業費計 (A)	円	46,282,384	11,496,175
	人件費	正職員従事人数	人	2	2
		人工数(業務量)	年間	0.0790	0.1182
		人件費計 (B)	円	650,926	919,545
	トータルコスト(A)+(B)		円	46,933,310	12,415,720
活動指標	施設数	施設	1	1	1
	開館日数	日	316	361	361

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

芽室町健康プラザの利用状況

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H27	個人	388	480	72	108	75	172	664	368	410	436	480	477	4,130
	団体	5,906	2,021	1,545	1,666	2,884	1,073	2,700	4,523	4,048	4,427	4,452	4,105	39,350
	計	6,294	2,501	1,617	1,774	2,959	1,245	3,364	4,891	4,458	4,863	4,932	4,582	43,480
H28	個人	485	644	321		72	457	768	266	333	421	360	341	4,468
	団体	3,106	2,029	2,014	102	1,957	1,072	2,987	3,687	5,067	4,327	5,027	4,000	35,375
	計	3,591	2,673	2,335	102	2,029	1,529	3,755	3,953	5,400	4,748	5,387	4,341	39,843
H29	個人	478	793	186	208	125	171	706	347	296	415	315	308	4,348
	団体	3,046	1,539	1,421	1,299	1,983	1,881	2,606	3,536	4,515	3,410	5,514	3,559	34,309
	計	3,524	2,332	1,607	1,507	2,108	2,052	3,312	3,883	4,811	3,825	5,829	3,867	38,657

芽室町健康プラザの競技別利用状況

競技名	H27	H28	H29
ゲートボール	12,505	14,875	15,235
サッカー	12,400	13,534	11,777
野球	5,308	4,531	5,170
ソフトボール	540	487	568
テニス	2,727	2,920	3,076
アーチェリー	803	884	896
パークゴルフ	741	791	864
その他	8,456	1,821	1,071
計	43,480	39,843	38,657

芽室町健康プラザの維持(修繕)の状況

【修繕】

①トイレ設備修繕(暖房便座取付) 97,200円